

参考 設計内訳書 (令和6 (2024) 年度)

工事 (委託) 名		市立南小学校児童クラブ室改修工事 (建築工事)			
工事 (委託) 箇所		足利市 堀込町			
工 事 概 要	特別教室棟 (鉄筋コンクリート造 3階建 2,618㎡)				
	・児童クラブ室改修 一式				
	・旧児童クラブ室解体・撤去 一式				
内 訳 書	積算内訳書提出の <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要			工 期	日 間
	I 共通仮設費	一式			年 月 日 ~ 年 月 日
	II 直接工事費	一式		前金払	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	純工事費				
	III 現場管理費	一式		部分払	<input type="checkbox"/> 有 (回以内) <input type="checkbox"/> 無
	工事原価				
	IV 一般管理費	一式		事業区分	<input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
	(契約保証費)				
(消費税相当額)					
	本工事費合計				

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
児童クラブ室改修工事	1	式		
旧児童クラブ室解体工事	1	式		
計				

児童クラブ室改修工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
児童クラブ室改修工事	1	式		
計				

旧児童クラブ室解体工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
旧児童クラブ室解体	1	式		
計				

児童クラブ室改修工事 科目別内訳

児童クラブ室改修工事				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設	1	式		
撤去工事	1	式		
改修工事	1	式		
計				

旧児童クラブ室解体工事 科目別内訳

旧児童クラブ室解体				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設	1	式		
解体撤去	1	式		
計				

児童クラブ室改修工事 細目別内訳

児童クラブ室改修工事		直接仮設					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
養生		1	式				
整理清掃後片付け		1	式				
内部仕上足場		1	式				
仮設材運搬		1	式				
計							

児童クラブ室改修工事 細目別内訳

児童クラブ室改修工事		撤去工事					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
児童クラブ室 昇降口 廊下 ビニル床タイル撤去	石綿含有 集積共	22.3	m ²				
スチルス床見切り 撤去		4.6	m				
天井合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	96.4	m ²				
天井下地撤去	集積共	1.7	m ²				
掲示板撤去	H=1,500 W=3,330	1	か所				
掲示板撤去	H=1,450 W=3,330	1	か所				
掲示板撤去	H=1,500 W=2,150	1	か所				
掲示板撤去	H=1,500 W=2,230	1	か所				
木製棚撤去	H=1,500 W=3,330 D=450	1	か所				
木製棚撤去	H=1,550 W=3,330 D=450	1	か所				
木製棚撤去	H=1,500 W=2,150 D=450	1	か所				
木製棚撤去	H=1,500 W=2,230 D=450	1	か所				
流し台ラインク 撤去		1	か所				
プレス腰壁撤去	石こうボード t=12.5 珪藻合板 t= 9.0 二重張り	3.7	m ²				

児童クラブ 室改修工事 細目別内訳

児童クラブ 室改修工事		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SD-1	アルミサッシ撤去 枠 共	1	式			
発生材積込み		1	式			
発生材運搬	石綿含有成形板 共	1	式			
発生材処分	石綿含有成形板 共	1	式			
便所						
床解体撤去	モザイクタイル 珪藻土 アスファルト防水 シタ-コンクリート 共 カッター 併用	6	m ²			
床マンホール・点検口 撤去	集積共	1	か所			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	18.5	m			
コンクリート撤去		3.6	m ³			
CB撤去		0.5	m ³			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	6	m ²			
天井下地撤去	集積共	6	m ²			
トランプ-ス撤去		3	m ²			
発生材積込み		1	式			

児童クラブ室改修工事 細目別内訳

児童クラブ室改修工事		撤去工事					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
発生材運搬		1	式				
発生材処分		1	式				
スクラップ控除	H3	1	式				
計							

児童クラブ室改修工事 細目別内訳

児童クラブ室改修工事		改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
児童クラブ室 昇降口 廊下 セムルパリング	セメント系	20.9	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ル・プパール 下地調整 共	82.5	m ²			
床段差滑り止め		3.4	m			
施工数量調査	タイル・珪外塗替改修	109	m ²			
ひび割れ補修	カット可とう性珪砂樹脂 充填サグ-仕上	20	m			
剥離補修	注入口付アカービソング 工法9本/m ²	1	m ²			
木製幅木	H100	20.2	m			
EP-G塗り 改修仕様	珪外面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	109	m ²			
EP-G塗り	ホ-ト面 工程B種(一般) 素地B種	14.1	m ²			
EP-G塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	18.9	m			
EP-G塗り (糸幅300mm以下)	木部	20.2	m			
木部 EP-G塗り 改修仕様	工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	18.4	m ²			
SOP塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	8.8	m ²			
ワッ合板	t=9	3.7	m ²			

児童クラブ 室改修工事 細目別内訳

児童クラブ 室改修工事		改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シ合板	t=5.5	3.7	m ²			
天井 けい酸 加シム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚5 目透かし	95.1	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	1.4	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード 下地 突付け	1.5	m ²			
キッチン 裨	見切り、シーリング (SR-1) 共	1	式			
ライング 甲板	ステンス加工 t=1.5 W=1,500 H=25 D=160	1	か所			
V吊りカーテンレール	アルミ製 H=300	1	式			
カーテン	H=2700 取付 共	1	式			
LSD-1		1	か所			
LSD-2		1	か所			
LSD-3		1	か所			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	2.6	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード 下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	3	m ²			
EP-G塗り	ボード面 工程B種(一般) 素地B種	3	m ²			

児童クラブ 室改修工事 細目別内訳

児童クラブ 室改修工事		改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
F-1	取付 共	1	か所			
隔て板	H=1,400 アルミ枠 高圧珪酸化化粧合板	1	か所			
目隠し用 ガラスフィルム張り		7	m ²			
黒板	スチール製 W=2,700 H=900	1	枚			
カーテンレール	ステンレス製 手引き 引分け 重量用(10-90) 下地 共	5.7	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	10	m			
SD-1	アルミサッシ新設	1	組			
アルミパネ	300 取付 シーリング(MS-2) 共	1	枚			
便所						
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵無 450角	1	か所			
床点検口 開口部補強	450×450mm程度	1	か所			
設備配管撤去部 床補修	無収縮珪砂 目荒し 普通合板型枠	10	か所			
乾式二重床	下地 パーティクルボード 厚20	5.1	m ²			
床珪酸化合板張り	厚12 1類	5.1	m ²			

児童クラブ室改修工事 細目別内訳

児童クラブ室改修工事		改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
セリアベリング	セメント系	1.2	m ²			
ビニル床シート	マ-プル 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	6.3	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	62.6	m ²			
グラスウール	厚100 24kg/m ²	62.6	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	44.5	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 突付け -	2.3	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	13.4	m ²			
化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6.0、アルミヨイテ、シーリング共	33.4	m ²			
ビニル幅木	高さ100	13.3	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 イサト含む	6.3	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トリプル 突付け	6.3	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボード等切込み共	1	式			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	1	か所			
EP塗り	ボード面 工程B種(見上) 素地B種	6.3	m ²			

児童クラブ室改修工事		改修工事					
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
計							

旧児童クラブ室解体工事 細目別内訳

旧児童クラブ室解体		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外部足場	くさび緊結式足場(手すり先行方式) 建柱900 安全手すり共 小幅ネット共 運搬費共	1	式			
防音シート張り	防音シート 運搬費共	1	式			
内部足場	脚立足場 運搬費共	1	式			
整理清掃後片付け		1	式			
計						

旧児童クラブ室解体工事 細目別内訳

旧児童クラブ室解体		解体撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部造作材撤去		81.9	m ²			
鉄骨造上屋解体		81.9	m ²			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧碎機 鉄筋切断 集積 共	1	式			
敷きならし	山砂 締め固め共	1	式			
とりこわし機械 運搬		1	式			
発生材積込み		1	式			
とりこわし 発生材運搬		1	式			
残材処分		1	式			
スクラップ控除		1	式			
計						

4－3章 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

・4-3-1 既存タイル張りの撤去

- 外壁タイル張り全面　・図示の範囲
- 撤去範囲　◎下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

・4-3-2 ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.2.5)(4.4.6)

改修箇所　◎既存タイル張り面　・既存タイル撤去面（・コンクリート　・モルタル面）
◎樹脂注入工法（◎既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm)	注入口間隔（mm)	注入量（ml/m)	備考
◎自動式低圧エポキシ注入工法	0.2以上～1.0以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎200～300	・	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎50～100	◎40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法		◎100～200	◎70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法		◎150～250	◎130	・

注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜き）　◎行わない　・行う（抜き後の補修方法：）
・Uカットシーリング充填工法

充填材料	品質・規格等	備考
◎シーリング用材料	1成分形または2成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ◎行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・4-3-3 欠損部改修工法　(4.1.4)(4.4.5)(4.4.7,8)(表4.4.2)

- タイル部分張替え工法(既存タイル張り撤去面)

接着剤の種類	品質・規格等
◎ポリマーセメントモルタル <ul style="list-style-type: none">タイル部分張替え工法用接	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外壁タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官庁技術調査室監修平成9年2月）」における「外壁タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの、または特記による。

- タイル張替え工法
- 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　◎改修標仕表4.4.2による　・図示
- タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない
- セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
- 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
- シーリング材の種類
打継目地、ひび割れ誘発目地　◎ポリウレタン系　・伸縮調整目地その他の目地　◎變成シリコーン系　・

- ・4-3-4 浮き部改修工法　(4.1.4)(4.4.5)(4.4.7～15)(表4.3.5,6)

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アーカービニングの本数（本/m ² ）		注入口の箇所数（箇所/m ² ）		充填量
	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎16	◎25	—	—	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎13	◎20	◎12	◎20	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎13	◎20	◎12	◎20	◎50ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎9	◎16	—	—	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎9	◎16	◎9	◎16	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎9	◎16	◎9	◎16	◎50ml/箇所
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	◎25ml/箇所
・タイル部分張り替え構法	—	—	—	—	—
・タイル張り替え構法	—	—	—	—	—

- アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものと
注入口付アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径外径6mm 改修工法の種類
- 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　◎改修標仕表4.4.2による　・図示
- タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない
- セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
- 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
- シーリング材の種類
打継目地、ひび割れ誘発目地　◎ポリウレタン系　・伸縮調整目地その他の目地　◎變成シリコーン系　・

・4-3-5 目地改修工法　(3.7.2)(4.1.4)(4.4.16)(表3.7.1)

- 目地ひび割れ部改修工法
- 伸縮目地改修工法
シーリング用材料　種類　◎改修標仕表3.7.1による

・4-3-6 陶磁器質タイル　(4.4.5)(4.4.7～8)(表4.4.4)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわ薬		役物		色		再生材の適用[G]	耐凍害性		備考
			I類	Ⅱ類	Ⅲ類	無釉	施釉	有	無	標準	特注		有	無	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　◎行わない　・行う
壁タイル張りの工法
外壁タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　◎行わない　・行う

4－4章 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ外壁

・4-4-1 既存塗膜等の除去及び下地処理　(4.5.2)(4.5.4)(表4.5.4～7)

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法		
工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	◎既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	◎既存仕上げ面全体	・浮き部改修工法
・加圧力・30MPa　◎15MPa	・	・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	◎既存仕上げ面全体	・
・水洗い工法	◎上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体	・

塗膜はく離剤　・

・4-4-2 下地調整塗材　(4.5.2)(4.5.4)

- ◎下地調整塗材
- ・ポリマーセメントモルタル

・4-4-3 仕上げ塗材仕上げ　(4.1.4)(4.5.2)(表4.4.1,4)(4.5.1)(標仕15.6.2)

種類、仕上げの形状、工法	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 Si	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材 Si	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・外装薄塗材 E	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状
	・防水形外装薄塗材 E	
	・外装薄塗材 S	
・複層仕上げ塗材	・複層塗材 CE	・ゆず肌状　・凸処理　・凹凸模様
	・可とう形複層塗材 CE	耐候性　◎耐候形3種
	・複層塗材 Si	上塗材
	・複層塗材 E	溶媒　◎水系　・溶剤系
	・複層塗材 RE	樹脂　◎アクリル系
	・防水形複層塗材 CE	外観　◎つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材 E	・メタリック
	・防水形複層塗材 RE	防水形の増塗材　◎行う
	・防水形複層塗材 RS	
・可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E	耐候性　◎耐候形3種
	・可とう形改修塗材 RE	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材 CE	

防火材料の指定が必要な場合
◎建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

・4-4-4 マスチック塗材塗り

- 種別　・A種　・B種

- ・4-4-5 外壁用塗膜防水材　(4.7.1～7)

各項目を参照する
5章 建具改修工事

◎5-1 改修工法の適用　(5.1.3)

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
・アルミニウム製建具	—	●	
・樹脂製建具	—	・	
・鋼製建具	・内部	・	
	・外部	・	
・鋼製軽量建具	・	・	
・ステンレス製建具	・	・	
・木製建具	・	・	

・5-2 見本の製作等　(5.1.5)

特殊な建具の仮組　・行う　◎行わない

・5-3 防犯建物部品　(5.1.6)

・適用する（・図示　・）

◎5-4 アルミニウム製建具　(5.2.2,4,5)(表5.2.1,2)

外部に面する建具　※複層ガラスの引違いの場合は100とする。

種別	枠見込(mm)	施工箇所
・A種	◎70	◎図示　・
●B種		◎図示　・
・C種	100	◎図示　・
	・防音ドアセット　・防音サッシ	遮音性の等級（　）
	・断熱ドアセット　・断熱サッシ[G]	断熱性の等級（　）
	・耐震ドアセット	面内変形追随性の等級（　）
	表面処理　種別◎BB-1　・BB-2（◎ﾌﾞﾗｯｸ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝﾍﾞｰ）	
屋内建具	表面処理　種別・BC-1　・BC-2（◎ﾌﾞﾗｯｸ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝﾍﾞｰ）	
	結露水の処理方法　◎図示　・	
	水切り板、ぜん板　◎図示　・	
	公共住宅のアルミサッシの品質及び性能	・「品質・性能基準」による　・

・5-5 網戸の網　(5.2.3)

種類	材質	線径	網目
・防虫網	◎合成樹脂製 <ul style="list-style-type: none">ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS16)製	◎0.25mm以上	◎16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・5-6 樹脂製建具　(5.2.5)(5.3.2～5)

種別	枠見込(mm)	施工箇所
・A種		◎図示　・

・B種	・70	◎図示　・
・C種	100	◎図示　・
	・防音ドアセット　・防音サッシ	遮音性の等級（　）
	・断熱ドアセット　・断熱サッシ[G]	断熱性の等級（　）
	・耐震ドアセット	面内変形追随性の等級（　）
	表面色　◎標準色　・特注色	
	水切り板、ぜん板　◎図示　・	
	ガラス	◎複層ガラス　・

◎5-7 鋼製建具　(5.2.2)(5.4.2～4)(表5.4.2)

簡易気密型ドアセット　・適用する（・適用しない）
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
遮音性の等級（　）
防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット・断熱サッシ[G]　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　）

鋼板類	材料	厚さ
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)		・標仕表5.4.2による
・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)		・

公共住宅の玄関ドアの品質及び性能
・「品質・性能基準」による　・
公共住宅のバイブシャフトドアの品質及び性能
・「品質・性能基準」による　・

・5-8 鋼製軽量建具　(5.2.2)(5.5.2～4)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット　・適用する（◎A-3　・）・適用しない
防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット・断熱サッシ[G]　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　）

材料　鋼板類　◎亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板類の厚さ(mm)　◎改修標仕5.5.4による
召合せ、縦小包み板の材質　◎鋼板　・
品質規格　◎製造所標準仕様による
製造所　評価名簿による
公共住宅のクローゼットドアの品質及び性能
・「品質・性能基準」による　・

・5-9 ステンレス製建具　(5.2.2)(5.4.2)(5.6.2～5)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　・適用する（・適用しない）
防音ドアセット　・防音サッシ　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット　・断熱サッシ[G]　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　）

ステンレス建具の鋼材の種類	
施工箇所	鋼材の種類
・屋外	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・
・屋内	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・

表面の仕上げ　◎H L仕上げ　・鏡面仕上げ

鋼板の曲げ加工　◎普通曲げ　・角出し曲げ

- ・5-10 木製建具　(5.7.2～4)

・フラッシュ戸			
合板の種類	規格等	備考	
・普通合板[G]	表面の樹種 <p>生地、透明塗料塗り（◎ラワン合板程度　・）</p> <p>不透明塗料塗り（◎しな合板程度　・）</p> <p>板面の品質（　）</p>		
・天然木化粧合板[G]	樹種名（　）		
・特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装）		
	表面性能（　）タイプ		
防虫処理（・行う　・行わない）	接着の程度（・1類・2類）		
表面板の厚さ　◎表5.7.6による　・			
建具材の含水率　◎A種　・			
・かまち戸　かまち樹種（　）	鏡板樹種（　）		
・ふすま	張りの種別（・I型　・Ⅱ型）		
	上張り（押入等の裏側以外）	・鳥の子　・新鳥の子またはビニル紙程度	
	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量	◎規制対象外　・	
	公共住宅の内装ドアの品質及び性能	・「品質・性能基準」による	
	公共住宅の量産ふすまの品質及び性能	・「品質・性能基準」による	

・5-11 建具用金物　(5.8.2.3)(表5.7.1～3)

建具金物の種類	種別	品質・規格
・本籍まり付きモノロック		評価名簿による
◎シリンドラ錠錠		
・シリンドラ本籍まり錠		
・ドアクローザ		
・ヒンジクローザ		
・フロアヒンジ		
・ハンドル	◎レバーハンドル　・	
吊金物		
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）		
・ピボットヒンジ		
◎ステンレス製(軸は鋼製　外部用は軸も含めてステンレス製)		
公共住宅の各住戸建具用金物（公仕仕16.8.2～4）		
	各住戸玄関開閉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能	・「品質・性能基準」による　・
	各住戸玄関開閉用及び内装扉用ドアクローザの品質及び性能	・「品質・性能基準」による　・
	ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝｷｰの使用　・可　・不可	
	玄関扉用ﾄﾞｱﾌﾞﾗｰｼﾞ-　◎A型　・B型　・C型　・D型　色彩　◎ｼﾙﾊﾞｰ　・内装扉用ﾄﾞｱﾌﾞﾗｰｼﾞ-　使用する（◎E型　色彩　◎ｼﾙﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾚｯｽﾞ）　◎使用しない	
	内装扉用戸当　材質　◎ステンレス	
	金属製建具用丁番　材質　◎ステンレス　・形状、寸法（　）	

木製建具用丁番　材質　◎ステンレス　・形状、寸法　◎102×2.0

◎5-12 鍵　(5.8.4)

- マスターキー　◎製作する　・製作しない
- その他の鍵　・各室3本1組　・引渡し　・鍵箱に収納する

・5-13 自動ドア開閉装置　(5.9.2,3)(表5.9.1～5)

自動ドア	性能	引き戸用検出装置の種類	凍結防止	防錆
・SSLD-1	◎耐電圧、温度	・マットスイッチ	・行う（適用箇所は、建具表による）	・適用する
・SSLD-2	上昇、耐久性	・光線（反射）スイッチ		・適用しない
・DSL-1	（サイクル）は	・熱線スイッチ		
・DSLD-2	改修標仕表5.9.1による	◎改修標仕表5.9.2による	・音波スイッチ	
			・光電スイッチ	
			・タッチスイッチ	
			・押しボタンスイッチ	
			・ペダルスイッチ	
			・多機能トイレスイッチ	

多機能トイレス入り口引き戸用駆動装置
開閉方法　◎片開き　・
耐電圧、温度上昇、耐久性（サイクル）、防錆、電源
◎改修標仕表5.9.2による
・耐電圧（　）　・温度上昇（　）
・耐久性（サイクル）（　）　・防錆・電源（　）

引き戸用検出装置
放射無線周波数電磁界耐性、耐電圧、防錆、防滴、電源
◎改修標仕表5.9.3による
・放射無線周波数電磁界耐性（　）　・耐電圧（　）
・防錆（　）　・防滴（　）　・電源（　）
戸の開閉方式　・図示
引き戸検出装置の種類（改修標仕表5.9.4）　・図示
凍結防止装置　・適用する（図示）　・適用しない

◎5-14 自閉式上吊り引戸装置　(5.10.3)(表5.10.1)

品質規格　◎改修標仕表5.10.1　・製造所標準仕様による
製造所　◎評価名簿による

・5-15 重量シャッター　(5.11.2,3)(表5.11.1)

シャッターの種類	耐風圧強度
・管理用シャッター	耐風圧強度（　）N/m ²
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　）N/m ²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉方式による種類　◎上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　◎障害物感知装置（自動閉鎖型）
管理用シャッターのシャッターケース　◎設ける　・設けない
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）

めっきの付着量　◎Z12またはF12　・

・5-16 軽量シャッター　(5.12.2,3)(表5.12.1)

開閉方式による種類　◎手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度　・（　）N/m²
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）めっき付着量（◎Z06またはF06　・）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）めっき付着量（◎AZ90　・）
スラットの形状　◎インターロッキング形　・オーバーラッピング形

・5-17 オーバーヘッドドア　(5.13.2,3)（表5.13.1,2)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
◎スチールタイプ	・125 (1250Pa)	◎バラン式	・スタンダード形	◎溶融亜鉛め
・アルミニウムタイプ	・100 (1000Pa)	・チェーン式	・ローヘッド形	つき鋼板
・ファイバークラスタイプ	・75 (750Pa)	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス
	・50 (500Pa)		・パーチカル形	鋼板

◎5-18 ガラス　(5.14.2～4)(3.7.3)

--

6章 内装改修工事

○6-1 改修範囲（6.1.3）

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲
◎壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
◎壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
◎既存のまま
・図示の範囲

○6-2 既存床の撤去及び下地補修（6.2.2）

ビニル床シート等の除去
◎仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（◎図示の範囲
・除去範囲の全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒工法
改修後の床の清掃範囲
◎改修箇所の室内
・

○6-3 既存壁の撤去及び下地補修（6.3.2）(4.3.10)

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
◎図示
・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強◎行う
・行わない）

・6-4 木下地（6.5.2）(表6.5.1.2)

木材の品質
・市販品
樹種
◎改修標準表6.5.6~9による
・代用樹種を適用する箇所（
）
保存処理木材を適用する箇所（
）

・6-5 造作用集成材^[G]（6.5.2）

ホルムアルデヒド放散量
◎規制対象外
・第三種
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
			◎1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					◎1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				◎A種 ・B種	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						◎A種 ・B種	

・6-6 造作用単板積層材^[G]（6.5.2）

ホルムアルデヒド放散量
◎規制対象外
・第三種
・JAS 0701（単板積層材）による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・有（無等級）	

・JAS 0701（単板積層材）以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・無（等級）	◎14%以下	

・JAS 3079（直交集成板）によるCLT（直交集成板）^[G]

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・

・6-7 合板等（6.5.8）(表6.5.8)

ホルムアルデヒド放散量
◎規制対象外
・第三種
・「合板の日本農林規格」による普通合板^[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	◎5.5 ・		◎1類 ・2類	広葉樹 ◎2等以上 ・1等以上 針葉樹 ◎C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板^[G]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	◎12 ・	◎2級以上 ・1級		◎1類 ・特類	◎C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板^[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・1類 ・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板^[G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・1類 ・2類	・適用する（ ）	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板^[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・1類 ・2類			・適用する（ ）	・

・パーティクルボード^[G]

施工箇所	表裏面の状態に	曲げ強さによる	耐水性による	難燃性による	厚さ
------	---------	---------	--------	--------	----

	よる区分	区分	区分	区分	(mm)
		◎13タイプ ・	◎PまたはM ・		◎15 ・

	構造用パネル					
施工箇所	厚さ(mm)	等級				
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級				
	・MDFG					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

・6-8 防腐・防蟻処理（6.5.5）

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（
）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類

・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（
）

○6-9 接着剤（6.5.3）

接着剤のホルムアルデヒド放散量
◎規制対象外
・第三種

○6-10 軽量鉄骨天井下地（6.6.2~4）(表6.6.1)

野縁等の種類
屋外形（◎25形
・19形）
屋内形（◎19形
・25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（
・1
・1.15
・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁、野縁受、フリボルト及びインサート及び周辺部の間隔
・図示
・

既存の埋込インサート
・使用する
・使用しない
あと施工アンカー施工後の確認試験
◎行う
・行わない

補強方法

フリボルトの間隔(900mm超)	◎図示 ・
天井のふところ(1.5m以上3.0m以下)	◎改修標準仕6.6.4(8)(7)(f)による ・図示
天井のふところ(3.0m超)	◎図示 ・

特定天井
特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成25年国土交通省告示第771号)に基づく工法
◎適用する
・適用しない

○6-11 軽量鉄骨壁下地（6.7.3）(表6.7.1)

スタッドの高さによる区分に応じた種類				
高さ2.7m以下	高さ4.0m以下	高さ4.0m超、4.5m以下	高さ4.5m超、5.0m以下	5.0m超
◎50形 ・	◎65形 ・	◎90形 ・	◎100形 ・	・図示

○6-12 ビニル床シート^[G]（6.8.2.3）

種別	種類の記号	色柄	厚さ(mm)
●発泡層のないもの	◎FS（複層ビニルシート）	・無地 ◎マーブル柄	◎2.0 ・
・発泡層のあるもの	・	◎柄物 ・無地	

目地処理する場合の工法
◎熱溶接工法
・突付け(施工箇所
）

・6-13 ビニル床タイル^[G]（6.8.2）

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
◎KT（コンポジションビニル床タイル） ・FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル）	◎無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	◎2.0	

・6-14 特殊機能床（6.8.2）

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	×(mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)		
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	×(mm)		

○6-15 ビニル幅木（6.8.2）

材質
・軟質
・硬質
高さ(mm)
・60
・75
◎100
厚さ(mm)
◎1.5以上
・

・6-16 ゴム床タイル（6.8.2）

種類
・単層
・複層
色柄
（
）
厚さ(mm)
・3.0
・4.5
・6.0
・9.0
寸法(mm)
（
）

○6-17 カーペット敷き^[G]（6.9.3）(表6.9.2)

・織じゅうたん					
種別	バイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・A類 ・B類 ・C類	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	◎無地 ・柄物	◎適用する ・適用しない	・	◎ヒートボンド工法

バイル形状	バイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	◎5～7	・全面接着工法	・適用する（ ）	
・ループバイル	◎4～6	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

●タイルカーペット					
バイル形状	種別	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考	
◎ループバイル	◎第一種	◎500×500			

・カットバイル	・第二種	・	◎6.5	平場	◎市松敷き	・模様流し
・カット、ループ併用			・	階段	◎模様流し	・市松敷き

・6-18 合成樹脂塗床（6.10.2,3）

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムルデヒド放散量
◎規制対象外
・

・6-19 フローリング張り^[G]（6.11.2~7）(表6.11.1~4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	備考
・フローリング*ボード*1等	・ぶな ◎なら ・さくら ・いたや	◎15 ・12以上	・釘止め工法(根太張り) ・12以上 ・接着工法	
・フローリング*ボード*1等(体育館用)	・	・	・	
・フローリング*ブロック*1等	・	◎15	・接着工法	303×303

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	種別(住宅)
・天然木化粧フローリング張り	・一般用 ◎なら ・住宅用	・	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・発砲*ウレタン系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法 ・接着工法(合成樹脂発泡シート裏打ち)	・A種 ・B種	・A種 ・B種 ・C種 ◎D種
・体育館用	・	・8以上 ・12以上	・普通張り ◎特殊張り		

ホルムアルデヒドの発散量
◎規制対象外
・第三種
現場塗装仕上げ
・行う(施工箇所
）
・行わない

◎ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・6-20 畳敷き（6.12.2.3）(表6.12.1)

下地の種類	畳の種類
標準仕12.6.1による床組	・A種 ・B種 ・C種 ・D種（ ）
ポリスチレンフォーム床下地	・A種 ・B種 ・C種 ・D種（ ）

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

・6-21 ポリスチレンフォーム床下地材（6.12.2.3）(表6.12.1)

床	厚さ(mm)	備考
フローリング類	・80 ・95	(不燃)
畳	◎40 ・65 ・80	(不燃)

○6-22 せっこうボードその他ボード及び合板張り（6.13.2.3）(表6.13.1,3,5)

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木片セメント板	・30 ・
・けい酸カルシウム板	◎タイプ2(無石棉)
・ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ(◎9 ・12)(不燃) ◎凸凹タイプ(◎12 ・15 ・19)(不燃)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	◎フラットタイプ 9(不燃) ◎凸凹タイプ(・12 ・15)(不燃)
・せっこうボード	・9.5(不燃) ・12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	◎9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トタン*葺き模様)
●シージングせっこうボード	●12.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
・せっこうラスボード	◎9.5
●化粧せっこうボード	◎9.5(・準不燃 ・不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	◎12.5(不燃)幅440程度 模様(◎柱目・板目)専用下地材付
・普通合板	表面の材種 生地、透明塗料塗り(◎ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り(◎しな程度 ・) 板面の品質（ ） 厚さ(mm)（ ） 接着の程度(・1類 ・2類) ・防虫処理 ・
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ1.2
・ミディアム*シティ*ガラス*ボード*	・3 ・7 ・9 ・12
・パーティクルボード	

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
◎アクリル系シーリング材
・ジョイントコンパウンド
工法合板の張り付け
・A種
◎B種
せっこうボードの目地工法
・目透し
・突付け
・継目処理
合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外
・第三種

・6-23 吸音材（6.13.2）(表6.13.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	◎25 ・
◎グラスウール吸音ボード32K	GW-B	◎25 ・

・6-24 壁紙張り（6.14.2.3）(表7.3.4.7)

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考
	紙	繊維種(織物)	フラ(ビニル)	その他(化学繊維)		
・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル、せっこうプラスター面の下地調整
・RA種
◎RB種
せっこうボード面の下地調整
・RA種
◎RB種
壁紙のホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外
・第三種

○6-25 モルタル塗り（6.15.3）

防水モルタルの防水剤
製造所
◎評価名簿による
既製目地材
・設ける
施工箇所（
）形状（
）
・設けない

モルタル
・現場調査材料
・既調合材料（
）
床の目地
（目地割り
◎2m程度(最大目地間隔3m程度)
・)
（種類
◎押し目地
・)
・設けない

・6-26 陶磁器質タイル（6.16.3.4）

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわ薬			役物		色		再生材の適用[G]		耐摩害性		備考
		I類	Ⅱ類	Ⅲ類	無釉	施釉	有	無	標準	特注	有	無	有	無		

・6-27 断熱材^[G]（標仕19.9.2~4）

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・ピーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・	・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	・	

断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1
・A種1H
厚さ(mm)
・25
・30
・
施工箇所
・図示
・

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・*ヒース*法*ポリスチレンフォーム保温材			
◎押出法*リソ*フォーム保温材			
レフォーム保温材	◎保温板(3種b)		
(スキンなし)	・		
・A種硬質ウレタンフォーム保温材			
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)			

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外
・第三種

・6-28 フリーアクセスフロア（標仕20.2.2）

施工箇所	構法	設定高さ(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能(N/㎡)	表面仕上げ材

<div></div> <div>・6-33 階段手すり</div>							
<table> <tbody><tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>◎集成材クリアッカー仕上げ（市販品径：約40mm）</td> <td></td></tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドレール（幅：約40mm）</td> <td></td></tr> </tbody></table>	種別	施工箇所	◎集成材クリアッカー仕上げ（市販品径：約40mm）		・ビニル製ハンドレール（幅：約40mm）		
種別	施工箇所						
◎集成材クリアッカー仕上げ（市販品径：約40mm）							
・ビニル製ハンドレール（幅：約40mm）							

◎6-34 **黒板及びホワイトボード**〔〔**G**〕〕（標仕20. 2. 9）

種類	寸法	色彩	備考
●黒板	◎焼付け 2,700×900	◎緑・黒	◎平面・曲面・スクリーン付引分
		◎緑・黒	◎平面・曲面・スクリーン付引分
・ホワイト	◎ほうろう	◎白	◎平面・曲面・スクリーン付引分
		◎白	◎平面・曲面・スクリーン付引分

・6-35 **鏡**（標仕20. 2. 10）

厚さ ◎5mm ・

・6-36 **表示**（標仕20. 2. 11）

区分	材質	取付位置
・衝突防止表示	・ステンレス製・図示	・図示
・室名札	・アクリル板	・図示
・	・	・

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。表示標識は図示による。ただし、案内用図記号はJIS Z 8210による。製造所：監督職員の承諾する製造所

・6-37 **ブラインド**（2. 3. 1）（5. 1. 6）（標仕20. 2. 14）

・既存再利用する（養生方法：） ・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックス、レールの材質
◎横型	・手動	◎ギヤ式・コード式・操作棒式	◎アルミニウム合金製 〔 〔 G 〕 〕	◎25・35	・鋼製
	・電動	－	・		・
・縦型	・手動	・2本操作コード式・1本操作コード式	・アルミスラット・クロススラット	・80・100	アルミニウム合金製
	・電動	－	・		・

・6-38 **ロールスクリーン**〔〔**G**〕〕（標仕20. 2. 15）

防火性能 ◎有 ・無
操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
スクリーンの材質 ・ポリエステル ・綿

<div></div> <div>◎6-39 カーテン（標仕20. 2. 16）</div>																																									
<p>・既存再利用する（養生方法：） ●新設する</p> <table> <tbody><tr> <th>施工箇所</th><th>形式</th><th>開閉装置</th><th>ひだの種類</th><th>品質等</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>シングル ダブル</td><td>片引 引分</td><td>●</td><td></td></tr> </tbody></table>	施工箇所	形式	開閉装置	ひだの種類	品質等	児童	シングル ダブル	片引 引分	●																																
施工箇所	形式	開閉装置	ひだの種類	品質等																																					
児童	シングル ダブル	片引 引分	●																																						
<table> <tbody><tr> <td>ｸﾞﾗﾝﾌﾞ室</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody></table>	ｸﾞﾗﾝﾌﾞ室																																								
ｸﾞﾗﾝﾌﾞ室																																									

<div></div> <div>◎6-40 カーテンレール（標仕20. 2. 16）</div>	
<p>・既存再利用する（養生方法：） ●新設する</p> <p>材質 ・ステンレス製 ●アルミニウム製</p> <p>形式 ●片開き ・引き分け（暗幕用は300mm以上の召合わせの重掛けとする） ●シングル ・ダブル</p> <p>断面形状 ◎C型 ・D型 ・角型</p>	

・6-41 **ブラインドボックス及びカーテンボックス**（標仕20. 2. 16）

・既存再利用する（養生方法：） ・新設する
・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80
色彩 ◎B-1 ・B-2（◎ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

<div></div> <div>◎6-42 天井点検口</div>	
<p>材質 アルミニウム製（◎緑線タイプ ・目地タイプ）</p> <p>製造所：評価名簿による</p>	

<div></div> <div>◎6-43 床点検口</div>	
<p>材質 アルミニウム製（受け枠 ◎アルミ製 ・ステンレス製）</p> <p>製造所：評価名簿による</p>	

<div></div> <div>・6-44 かつふきマット</div>	
<p>市販品 材質・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）</p> <ul style="list-style-type: none">硬質アルミニウム製（受枠とも） ビニル製（ステンレス製受枠） ステンレス製（受枠とも）	

・6-45 **浴室ユニット**（公仕仕20. 2. 15）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による）種類、形状、寸法（内法）、材質（）

・6-46 **キッチンキャビネット**（公仕仕20. 2. 16）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による）種類 ◎セキヤキヤクン（◎Ⅰ型 ・Ⅱ型） ・シキヤクン 流し台、調理台、ｺﾝﾀｲ、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎設計図による ・カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ステンレス ・付属部品 ◎水切り棚 ・

・6-47 **郵便受箱**（公仕仕20. 2. 17）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による）形状 ・縦型 ◎横型 寸法（ × ）個数（ ）個 材質 ◎ステンレス ・

・6-48 **手すりユニット**（公仕仕20. 2. 18）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による）

名称	種類	材質	形状	寸法（支柱間隔、高さ等）	支持方法
壁落防止手すり	・廊下用	・アルミ	・手すり子	◎設計図による	・床支持
		・スチール	・目隠しﾊﾞｯｷﾞ	・	・壁支持
	・ﾊﾞﾙｺｰ用	・アルミ	・手すり子	◎設計図による	・床支持
		・スチール	・目隠しﾊﾞｯｷﾞ	・	・壁支持
	・窓用	・アルミ	・手すり子	◎設計図による	・壁支持
		・スチール	・目隠しﾊﾞｯｷﾞ	・	・
		・ステンレス	・	・	・

<div></div> <div>・6-49 補助手すり（公仕仕20. 2. 19）</div>																					
<p>公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による）</p> <table> <tbody><tr> <th>名称</th><th>材質</th><th>形状</th><th>寸法</th><th>設置場所</th></tr> <tr> <td>◎廊下階段手すり</td><td>◎合成樹脂被覆アルミ手すり</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>◎補助手すり</td><td>・樹脂被覆ｽﾃｰﾙ手すり</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・集成材ｸﾘｱｯｶﾞｶﾞ塗ﾘ</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody></table>	名称	材質	形状	寸法	設置場所	◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆アルミ手すり				◎補助手すり	・樹脂被覆ｽﾃｰﾙ手すり					・集成材ｸﾘｱｯｶﾞｶﾞ塗ﾘ				
名称	材質	形状	寸法	設置場所																	
◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆アルミ手すり																				
◎補助手すり	・樹脂被覆ｽﾃｰﾙ手すり																				
	・集成材ｸﾘｱｯｶﾞｶﾞ塗ﾘ																				

7章 塗装改修工事

◎7-1 **材料**（7. 1. 3）

屋内の壁・天井仕上げ材は防火材料とする。建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

下地面等	種別
木部	・RA種 ◎RB種 ・RC種
鉄鋼面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ◎RB種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	◎RA種 ・RB種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
コンクリート面及びALCパネル面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修◎行わない ・行う（補修範囲及び補修方法は図示による。）	

◎7-3 **素地ごしらえ**（7. 3. 2～7）（表7. 3. 1～7）

下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合 ◎A種 ・B種 <p>透明塗料塗りの場合</p> <p>・A種 ◎B種</p>
鉄鋼面	DP以外 ◎A種 ・B種 ◎C種 <p>DP</p> <p>・A種 ◎B種 ・C種</p>
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・A種 ◎B種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面	・A種 ◎B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）	・A種 ・B種
コンクリート面（DPのみ）	・A種 ◎B種
せっこうボード面及び	目地、継目処理工法 ◎A種 ・B種
その他ボード面	目地、継目処理工法以外 ・A種 ◎B種

<div></div> <div>◎7-4 錆止め塗料塗り（7. 4. 2. 3）（表7. 4. 1～6）</div>			
下地面等	塗料	工程	
鉄鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え ◎A種 ・ <p>新規見え掛り ◎A種 ・</p> <p>新規見え隠れ ◎A種 ・</p> ◎C種 ・	
	DP	塗替え 改修標仕7. 4. 2(1) (f) (b)による	・A種（下地調整 RA種）
	新規	改修標仕7. 4. 2(1) (f) (a)による	・B種（下地調整 RB種）
		・C種（下地調整 RC種）	
EP-G	塗替え ◎B種 ・ <p>新規見え掛り ◎B種 ・</p> <p>新規見え隠れ ◎B種 ・</p>	◎C種 ・ <p>◎A種 ・</p> <p>◎B種 ・</p>	
亜鉛めっき鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え ◎A種 ・ <p>新規鋼製建具等 ◎A種 ・</p> <p>その他 ◎B種 ・</p>	◎C種 ・ <p>◎A種 ・</p> <p>◎B種</p>
	DP	塗替え ◎B種 ・ <p>新規</p> ◎B種 ・	－
	EP-G	塗替え ◎C種 ・ <p>新規鋼製建具等 ◎C種 ・</p> <p>その他 ◎C種 ・</p>	◎C種 ・ <p>◎A種 ・</p> <p>◎B種</p>

<div></div> <div>◎7-5 各種塗料塗り（7. 5. 1～7. 13. 2）（表7. 5. 1～7. 13. 1）</div>		
塗装	塗装面	工程
●合成樹脂調合ベイント塗り（SOP）塗料の種類 ◎Ⅰ種 ・Ⅱ種	木部 屋外	◎B種
	木部 屋内	◎B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗リ（NAD）	鉄鋼面	◎B種
	亜鉛めっき鋼面	◎B種
・耐候性塗料塗リ（DP）	鋼製建具	◎A種
	屋内のコンクリート面 ・モルタル面	◎B種
鉄鋼面上塗り	・1級（フッ素樹脂塗料）	◎B種
	・2級（アクリルシリコン樹脂塗料）	◎B種
	・3級（ポリウレタン樹脂塗料）	◎B種
亜鉛めっき鋼面	・1級（フッ素樹脂塗料）	◎B種
	・2級（アクリルシリコン樹脂塗料）	◎B種
	・3級（ポリウレタン樹脂塗料）	◎B種
コンクリート面	・A-Ⅰ種 ・A-2種 ・B-Ⅰ種 ・B-2種	・A-Ⅰ ・B-Ⅰ

		・C-Ⅰ種 ・C-2種	・C-Ⅰ
	押出成形セメント板面	・A-Ⅰ種 ・A-2種 ・B-Ⅰ種 ・B-2種 ・C-Ⅰ種 ・C-2種	・A-Ⅰ ・B-Ⅰ ・C-Ⅰ
●つや有合成樹脂エマルションペイント塗リ（EP-G）	屋内木部	◎B種 ・	◎A種 ・
	屋内鉄鋼面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	屋内亜鉛メッキ鋼面	◎A種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・A種 ・B種
せっこうボード面	◎B種 ・	・A種 ・B種	
・合成樹脂エマルションペイント塗リ（EP）	塗装面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗リ（EP-T）	屋内コンクリート面	・A種	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面	◎B種	・A種 ・B種
	せっこうボード面	◎B種 ・	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗リ（UC）	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
	・ラッカーエナメル塗リ（LE）		・A種 ◎B種
	・クリヤラッカー塗リ（CL）		・A種 ◎B種
	・ステイン塗リ	木部	
・木材保護塗料塗リ（WP）	木部		・A種 ◎B種
	・水性ウレタン樹脂塗料塗リ	木部	2波形4回塗り1回の塗付量0.06kg/m ³ ホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆

8―1章 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

<div></div> <div>◎8-1-1 鉄筋の種類等（8. 2. 1）（表8. 2. 1）</div>			
規格	種類の記号	使用箇所	呼び名（mm）
鉄筋 コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	・SD295A		◎D16 以下
	・SD345		◎D19 以上

<div></div> <div>・8-1-2 溶接金網（8. 2. 2）</div>				
形状等	種類の記号	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網		◎100×100		◎6.0
・鉄筋格子				

・8-1-2 **溶接金網**（8. 2. 2）

◎8-1-3 **鉄筋の継手**（8. 3. 4）（表8. 3. 3）

柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋
・重ね継手(L=） ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手

◎8-1-4 **鉄筋及び溶接金網のかぶり厚さ**（8. 3. 5）（表8. 3. 6）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する

施工箇所	改修標仕表 8. 3. 6の値に加える長さ
・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	◎10mm
柱及び梁の主筋にD29以上の鉄筋の使用	
・無 ・有（適用箇所：）	主筋のかぶり厚さ・最小かぶり厚さ（）mm

・8-1-5 **帯筋**（8. 3. 4）

帯筋の組立の形
各部配筋参考図1.1による
・H形 ・W-I形 ・W-Ⅲ形

・8-1-6 **圧接完了後の圧接部の試験**（8. 3. 8）（標仕5. 4. 10）

<div></div> <div>・8-1-7 コンクリートの種類及び強度（8. 1. 3. 4）（表8. 1. 1）</div>				
レディーミクストコンクリートの種別 ◎Ⅰ類 ・Ⅱ類				
設計基準強度F _c （N/mm ² ）	気乾単位容積質量（t/m ³ ）	スランブ	適用箇所	施工時期
◎21	2.3程度	◎18		
		・15または18		
・				

・8-1-8 **普通コンクリートの材料**（8. 2. 5）（8. 6. 4）

セメントの種類
◎普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのA種
・高炉セメントB種〔G〕
普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱

7d	352J/g以下
28d	402J/g以下

混和材量
混和材の種類
◎混和剤（JIS A 6204によるAE剤、AE減水剤または高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化水イオン量による区分はⅠ類とする。
・混和材（JIS A 6201によるフライアッシュのⅠ種またはⅡ種、JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉末またはJIS A 6202に適合する膨張剤

使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分

・A ・B（コンクリート中のアルカリ総量R_t≒3.0kg/m³）

・8-1-9 **レディーミクストコンクリート工場の選定**

レディーミクストコンクリート工場の選定においては、改修標仕 8. 5. 1（コンクリート製造工場の選定）によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国品質管理監査会議

の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。

◎8-1-10 **モルタル及びグラウト材**（8. 2. 12）

柱底等の均しモルタル ◎無収縮モルタル ・標仕表7. 10. 2によるB種

グラウト材 ◎無収縮グラウト材

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材は、評価名簿による

・8-1-11 **打放し面の打増し**

打増し厚さ（外部に面する部分） ◎20mm
・打増し厚さ（内部に面する部分） ◎10mm ・20mm
打増し範囲 ◎意匠図による

<div></div> <div>・8-1-12 無筋コンクリート（8. 11. 1～3）</div>				
種類	設計基準強度F _c （N/mm ² ）	スランブ（cm）	粗骨材の最大寸法	適用箇所
◎普通コンクリート	◎18	・15 ・18	◎25mm	

・8-1-13 **鉄骨の製作工場**（8. 1. 5）

製作工場の加工能力
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センターまたは（株）全国鉄骨評価機構（(旧)（社）全国鐵鋼工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（）グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場

・8-1-14 **入熱、梁間温度の溶接条件**

適用箇所 ◎柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示（）
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ◎図示

・8-1-15 **施工管理技術者**（8. 1. 5）

<div></div> <div>◎適用する</div>		
<div></div> <div>・8-1-16 鋼材（8. 2. 8）（表8. 2. 7）</div>		
種類の記号	使用箇所	規格等
		◎JIS規格による
		◎JIS規格による
		◎JIS規格による
		◎JIS規格による

・8-1-17 **溶接接合**（8. 15. 7）

スカラップ ◎改良型スカラップ

エンドタブの切断 ・行わない ・行う

適用箇所 ・全て ・図示（）

・8-1-18 **高力ボルト**（8. 2. 9）（標仕7. 12. 4）

◎トルシア型高力ボルト ・JIS型高力ボルト ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト

摩擦面の処理（◎プラスト処理 ・りん酸処理）

・8-1-19 **鉄骨工作仮組**（8. 13. 10）

◎行わない ・行う

・8-1-20 **溶接部の試験**（8. 15. 11. 12）

完全溶け込み溶接の超音波探傷試験 ◎行う

現場隣肉溶接部の外観検査 ◎行う（検査箇所）構造耐力上主要な部分である継手・仕口

・8-1-21 **錆止め塗料塗り**（8. 17. 3）

耐火被覆材の接着する面の塗装 ◎行わない ・行う（・JIS K 5622 ・）

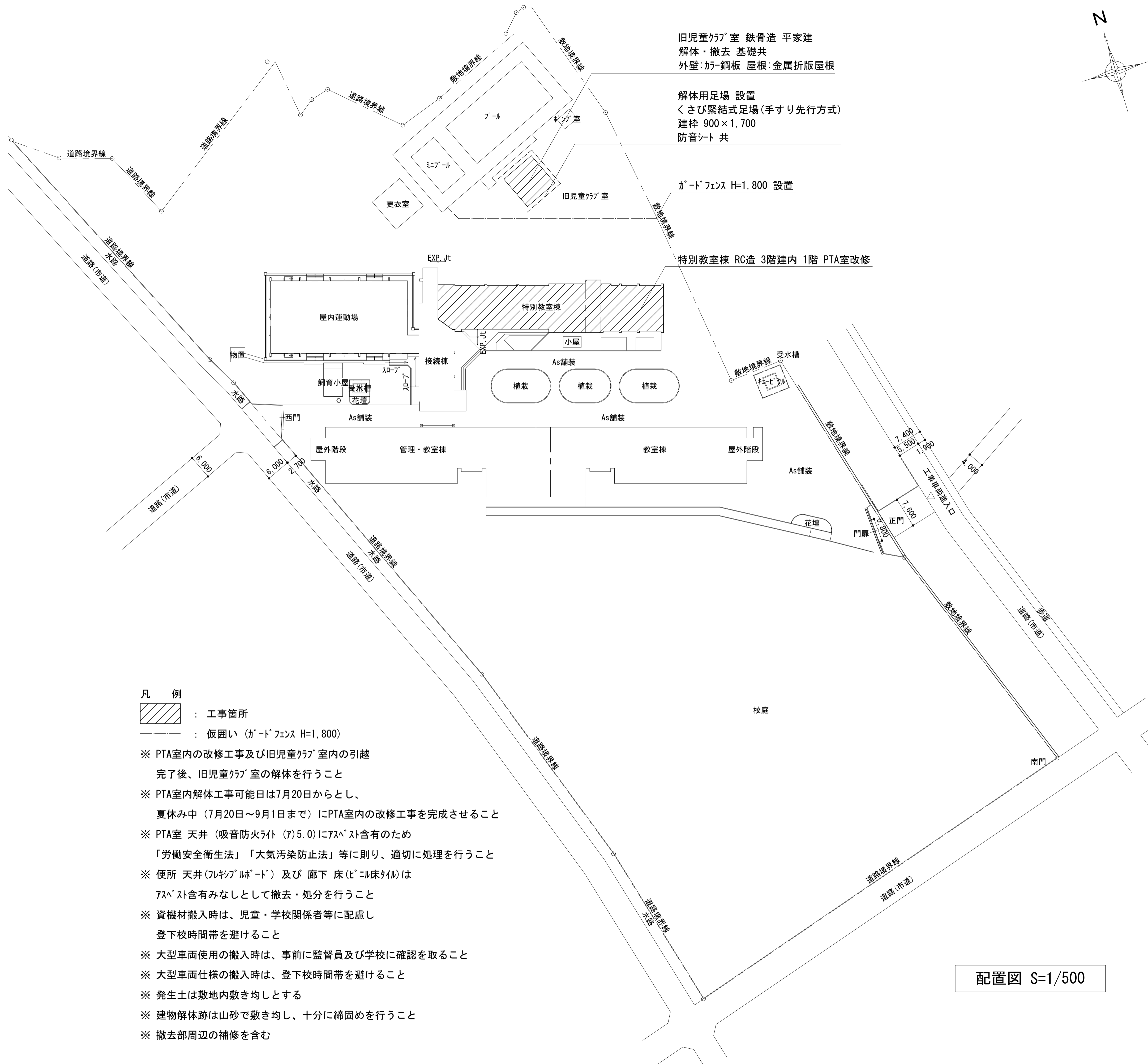
<div></div> <div>・8-1-22 耐火被覆（8. 18. 2～7）</div>		
種別	所要性能及び適用構造区分	
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻き付け		

◎8-1-23 **既存コンクリートの目荒し**（8. 21. 3）（8. 22. 3）



案内図 S=1/4,000

: 工事箇所



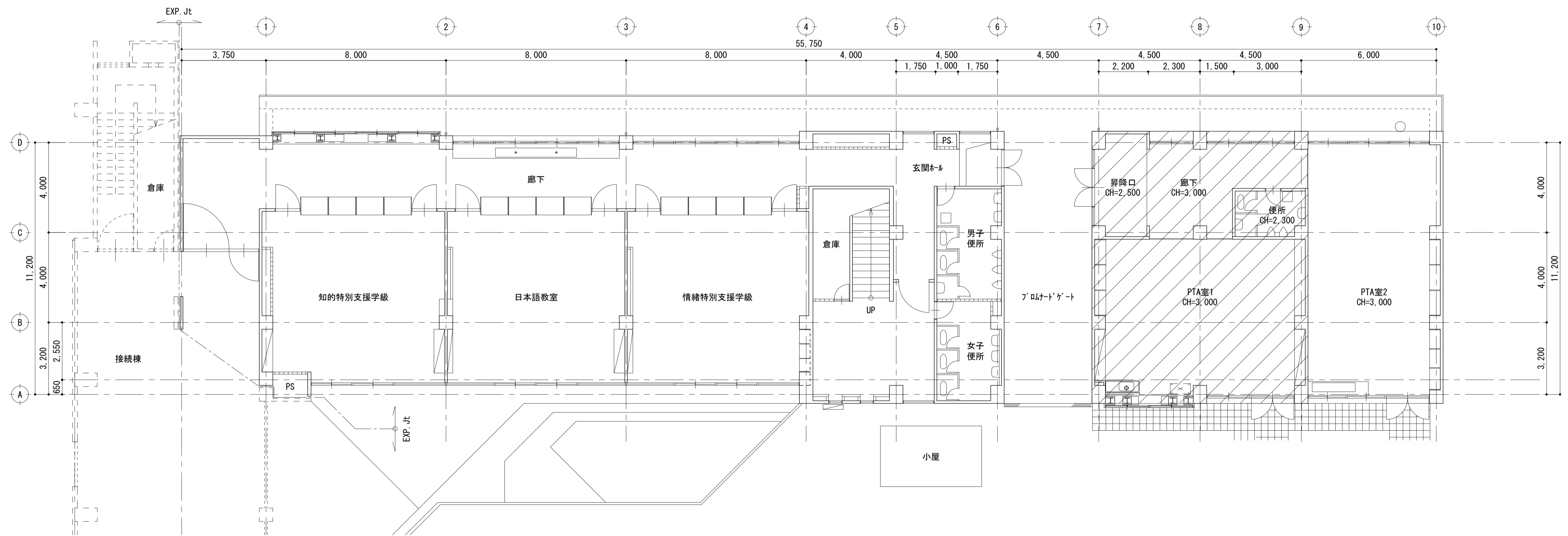
配置図 S=1/500

凡例

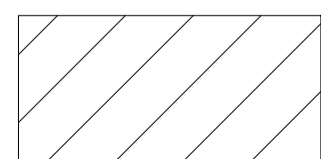
- : 工事箇所
- : 仮囲い (ガードフェンス H=1,800)

- ※ PTA室内の改修工事及び旧児童クラブ室内の引越完了後、旧児童クラブ室の解体を行うこと
- ※ PTA室内解体工事可能日は7月20日からとし、夏休み中(7月20日~9月1日まで)にPTA室内の改修工事を完成させること
- ※ PTA室天井(吸音防火ライト(ア)5.0)に7x6x6寸含有のため「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等に則り、適切に処理を行うこと
- ※ 便所天井(フレキシブルボード)及び廊下床(ビニル床タイル)は7x6x6寸含有みなしとして撤去・処分を行うこと
- ※ 資機材搬入時は、児童・学校関係者等に配慮し登下校時間帯を避けること
- ※ 大型車両使用の搬入時は、事前に監督員及び学校に確認を取る
- ※ 大型車両仕様の搬入時は、登下校時間帯を避けること
- ※ 発生土は敷地内敷き均しとする
- ※ 建物解体跡は山砂で敷き均し、十分に締固めを行うこと
- ※ 撤去部周辺の補修を含む

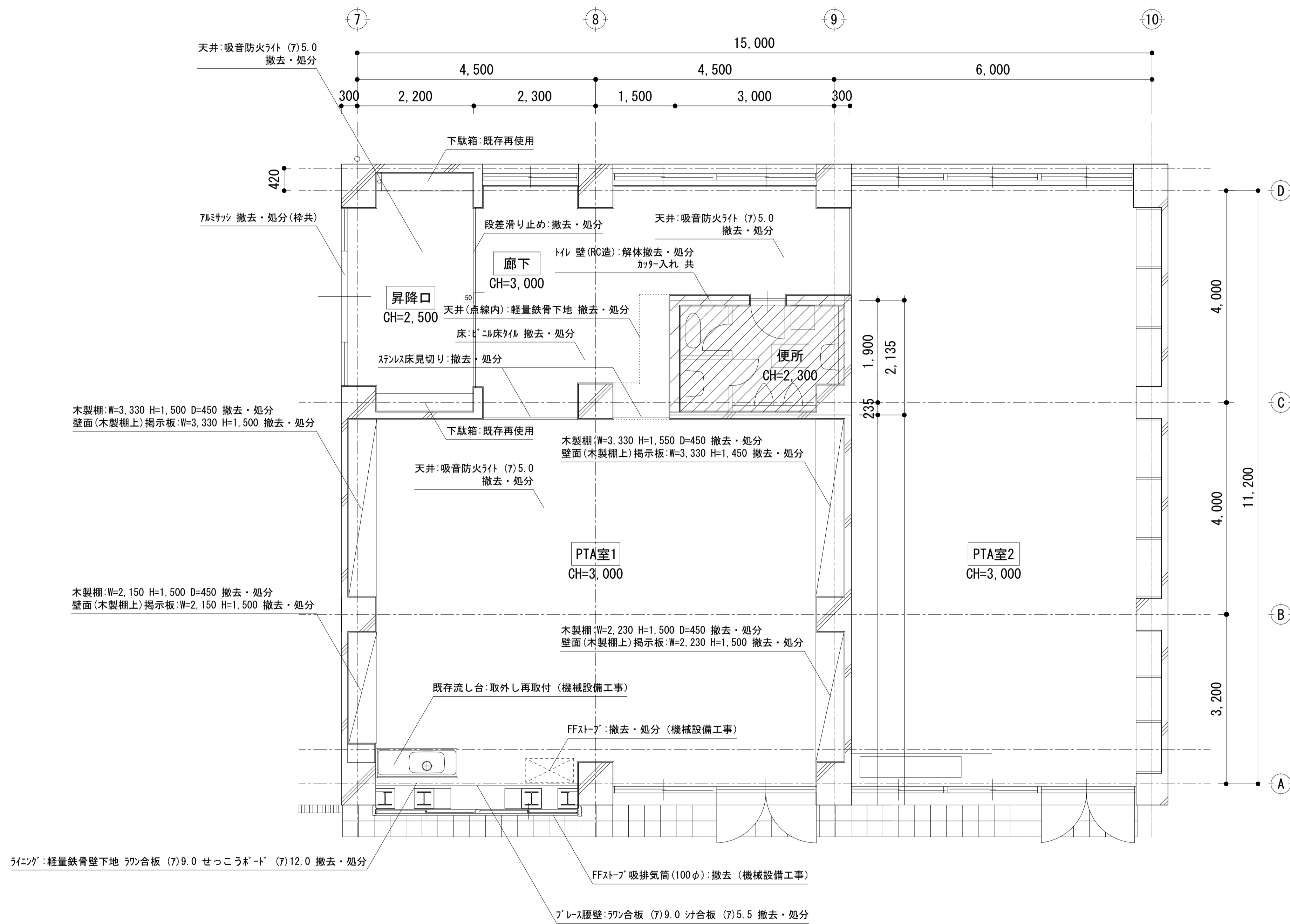




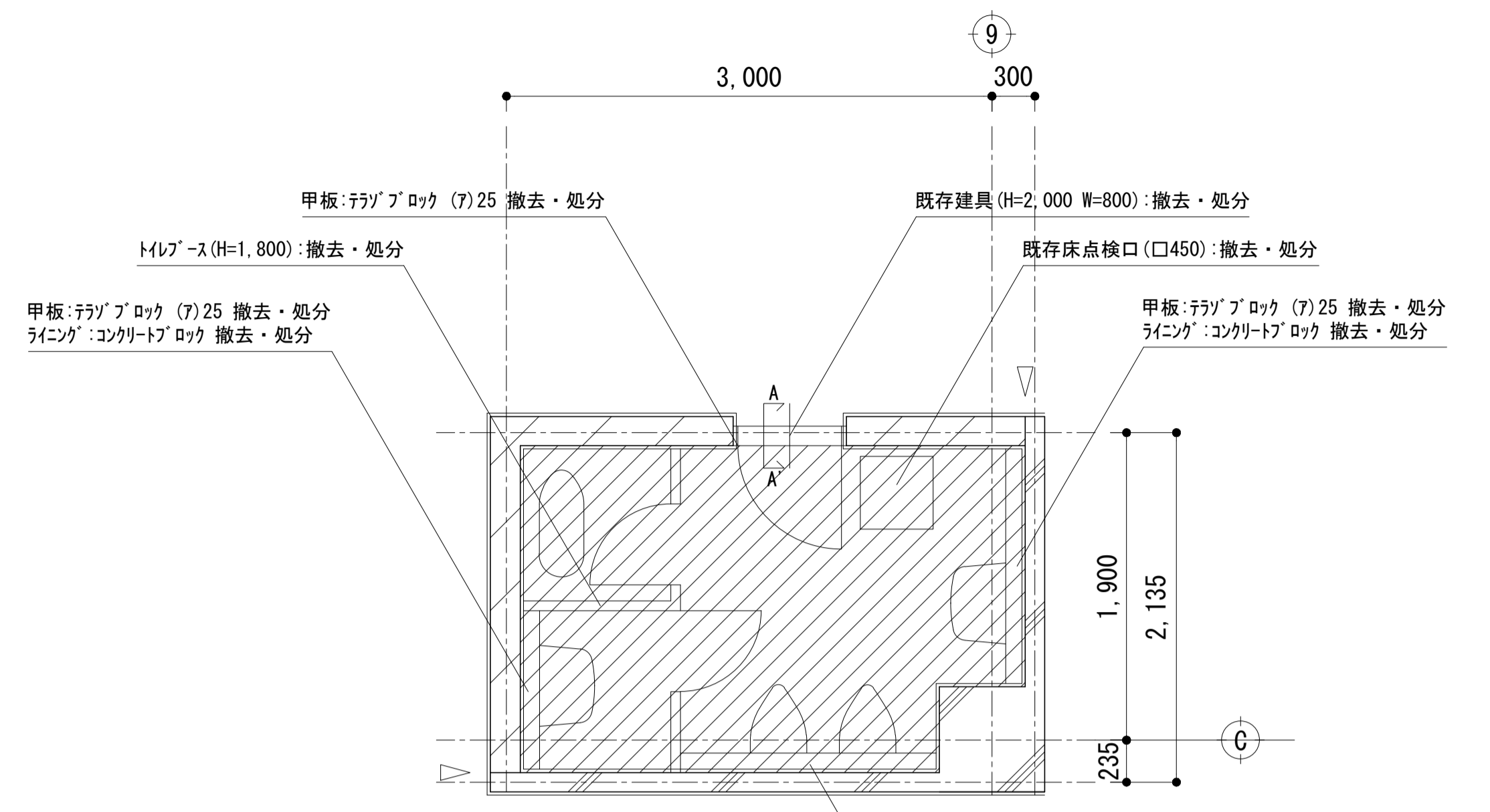
特別教室棟 1階平面図 S=1/100

 : 工事箇所



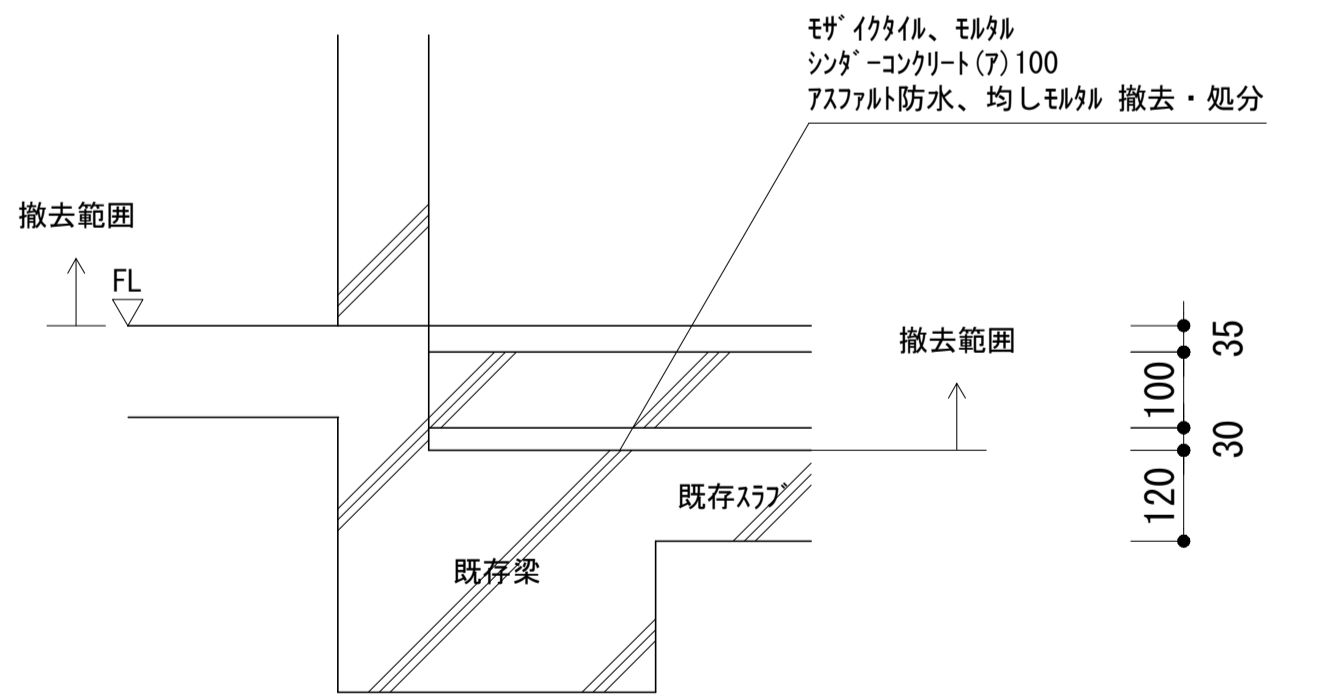


児童クラブ室平面図 (改修前) S=1/50



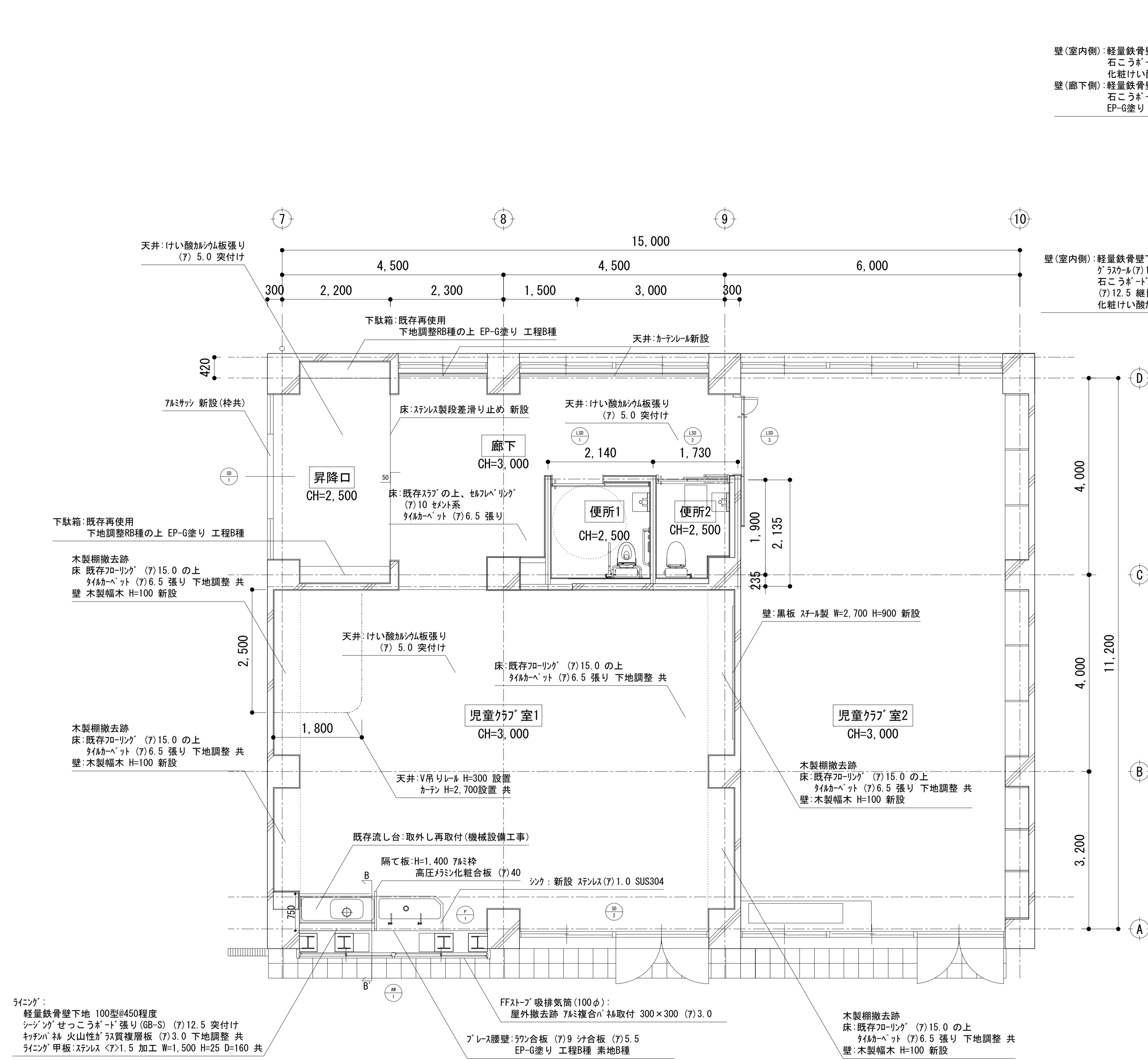
- ▲ カッター入れ
- 天井・床 解体範囲
 - 壁 コンクリート、モルタル 解体範囲
- 天井 フレキシブルボード 撤去・処分
軽量鉄骨下地 撤去・処分 共
- 壁 100角半磁器タイル 撤去・処分 (モルタル共)
- 床 セグメントタイル、モルタル、シガー-コンクリート 均しモルタル 共
- ※ 既存天井高 H=2,300
 - ※ 天井 フレキシブルボードは、FAS含有のみなしとして撤去・処分を行うこと。
 - ※ 既存取合い部 (天井・壁・床) の補修含む
 - ※ 便器・配管撤去後 普通合板型枠 無収縮モルタル 目荒し 共
 - ※ 鉄筋切断部は錆止め塗装を行うこと
 - ※ 機械設備工事、電気設備工事は別途工事とする
 - ※ 解体は全て躯体コンクリート表とする
 - ※ 衛生器具撤去は別途工事とする

トイレ平面図詳細図 (改修前) S=1/30

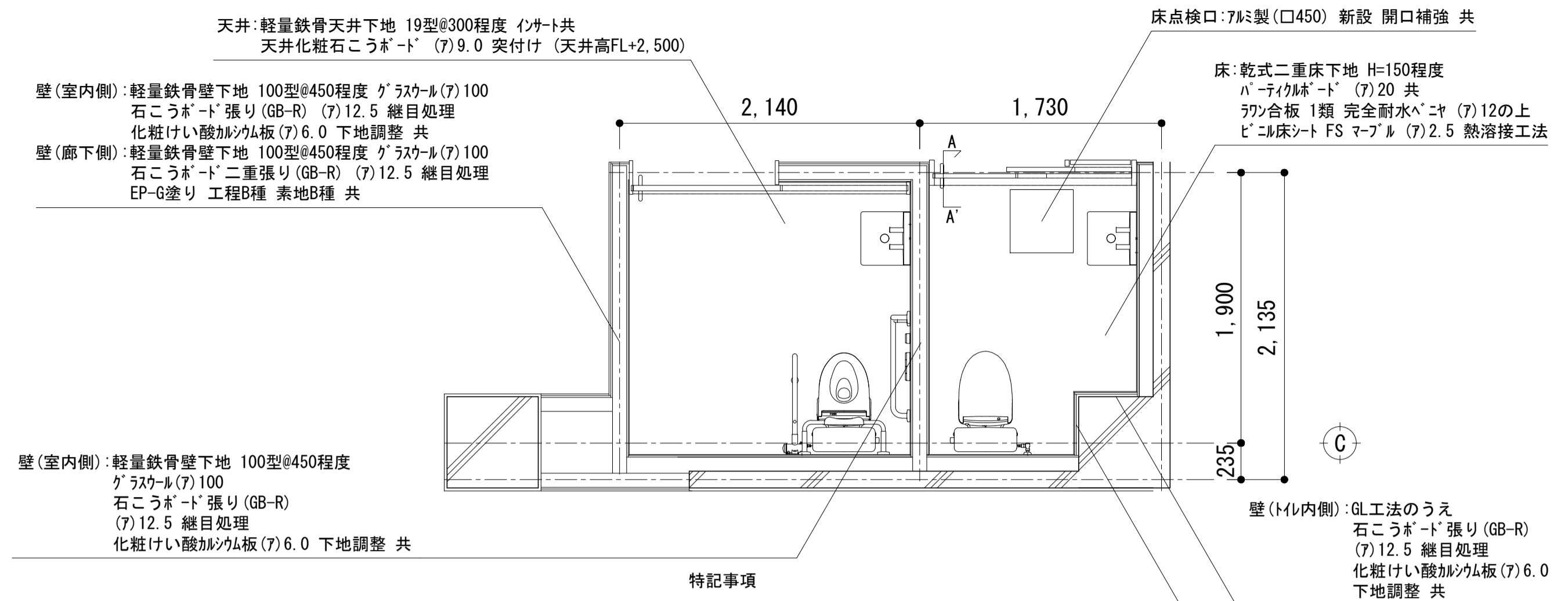
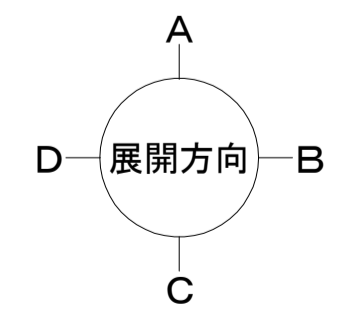


A部床断面詳細図 S=1/10

※ 床 ビニル床タイルは、FAS含有のみなしとして撤去・処分を行うこと
 ※ 天井 吸音防火ライト (7)5.0 にFAS含有のため「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等に則り、適切に処理を行うこと

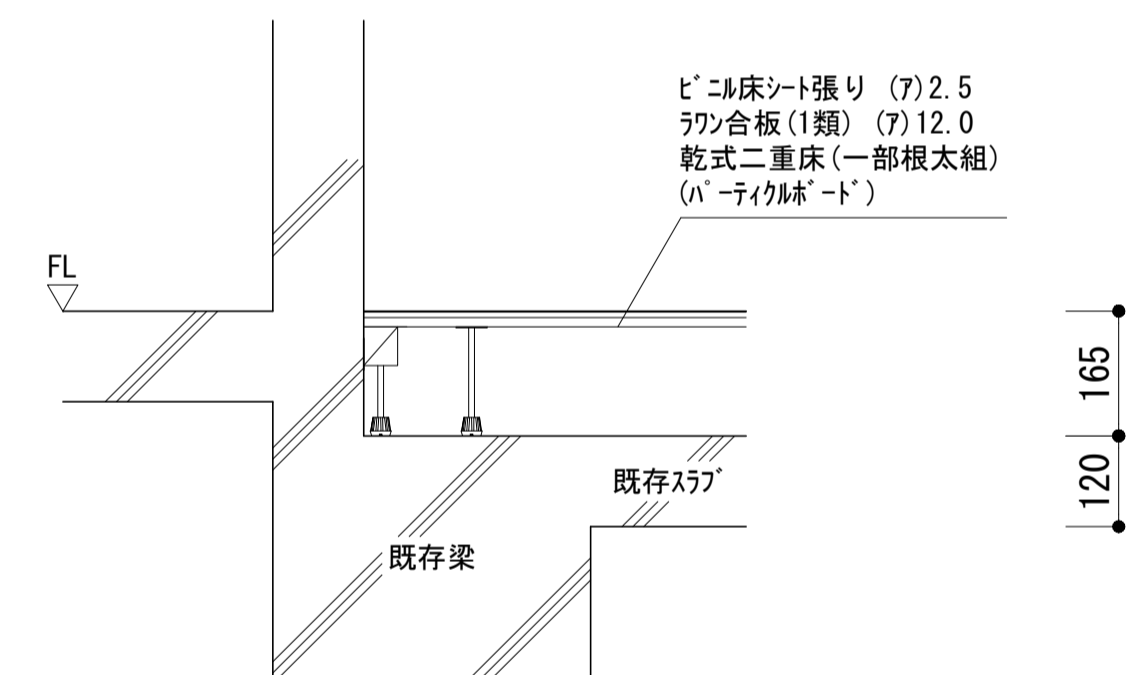


児童クラブ室平面図（改修後） S=1/50

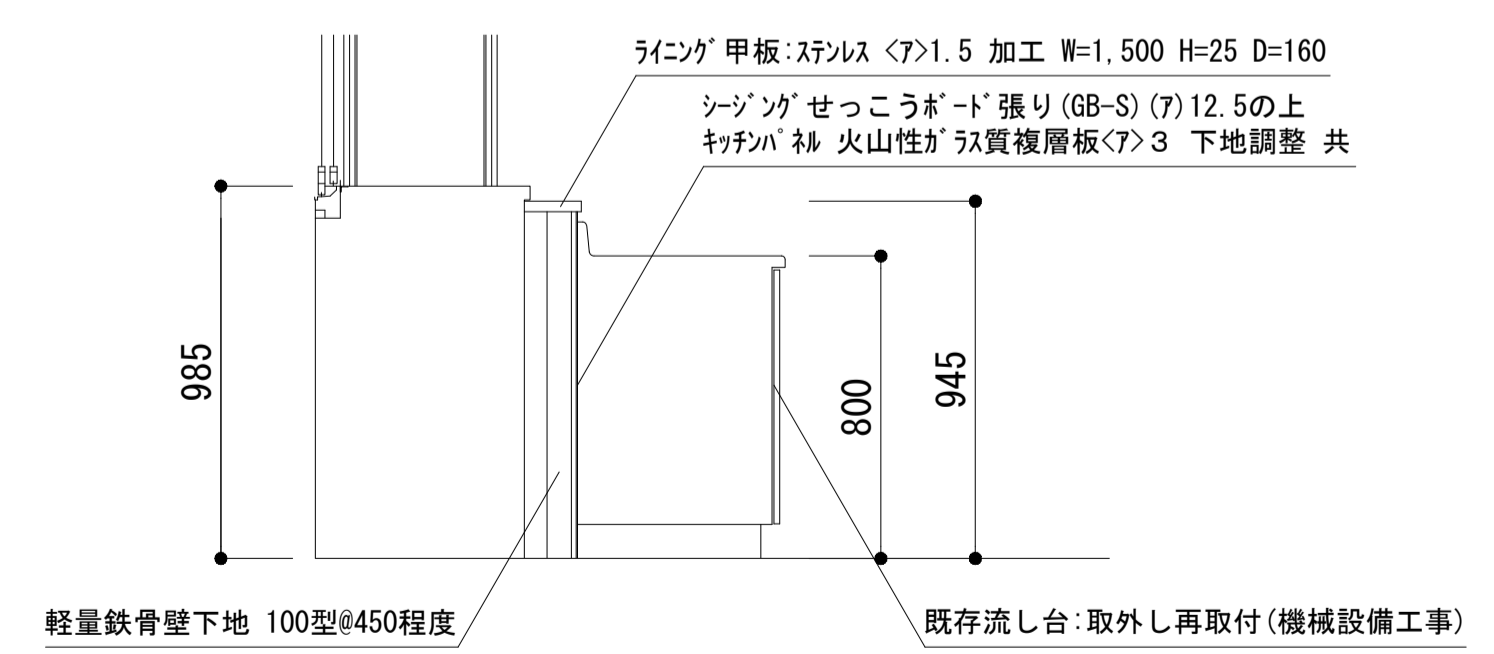


- 特記事項
- ※ 改修後天井高 FL+2,500
 - ※ 既存取合い部(天井・壁・床)の補修含む
 - ※ 便器・配管撤去後 普通合板型枠 無収縮目録 目荒し 共
 - ※ 鉄筋切断部は錆止め塗装を行うこと
 - ※ 天井点検口450口 2か所(便所1、便所2) 新設
 - ※ 床下点検口450口 1か所(便所2) 新設
 - ※ 機械設備工事、電気設備工事は別途工事とする
 - ※ 化粧けい酸加珪酸板張りは、目地処理を細目地シリングとし、ユナ処理を7mmシヨ付とする
 - ※ 化粧けい酸加珪酸板張りは標準準拠とする
 - ※ ビニル床シート接着剤は、珪 杉樹脂系とする
 - ※ 衛生器具撤去は別途工事とする

トイレ平面図詳細図（改修後） S=1/30



A部床断面詳細図 S=1/10

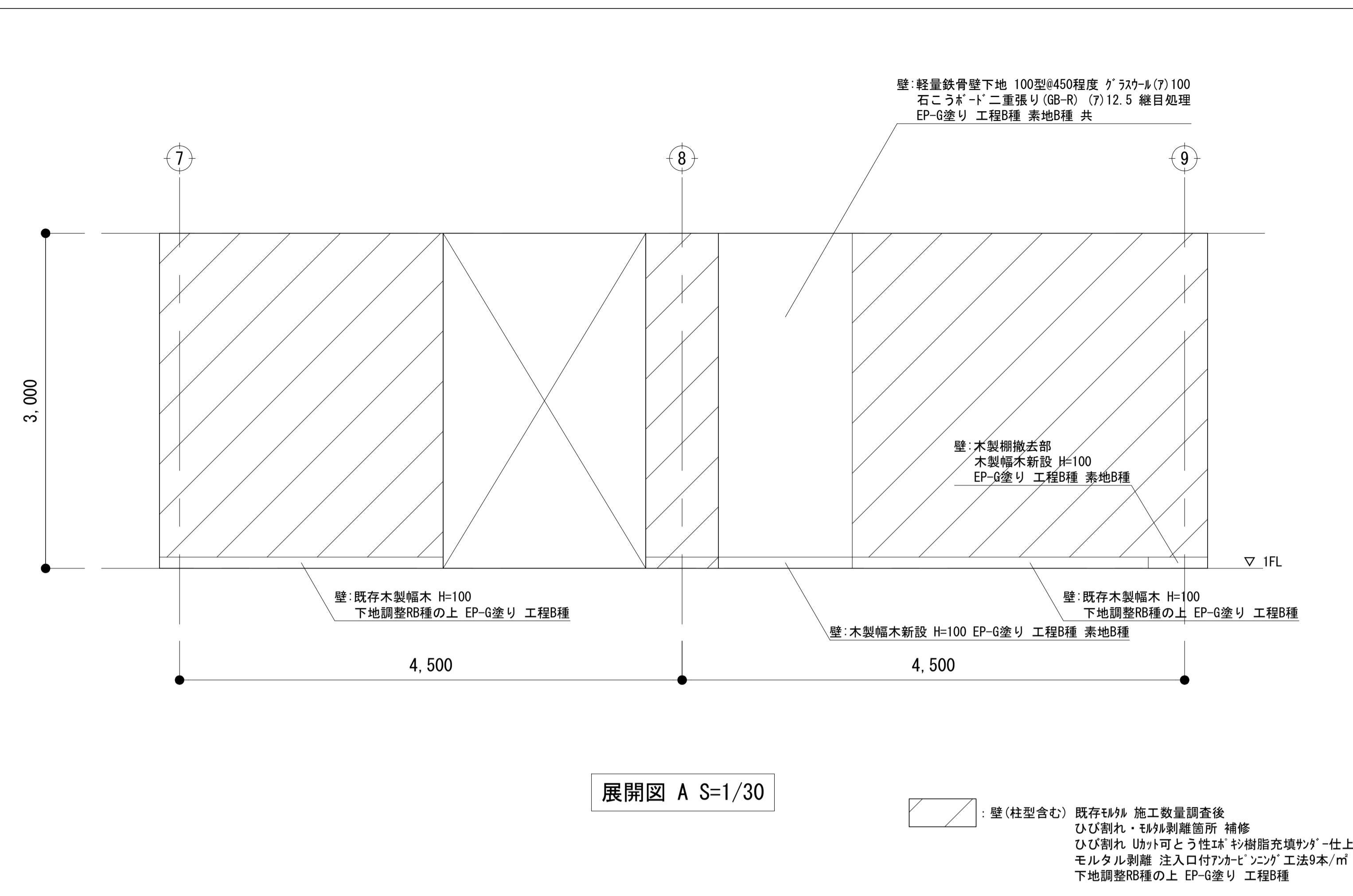


B部壁断面詳細図 S=1/10



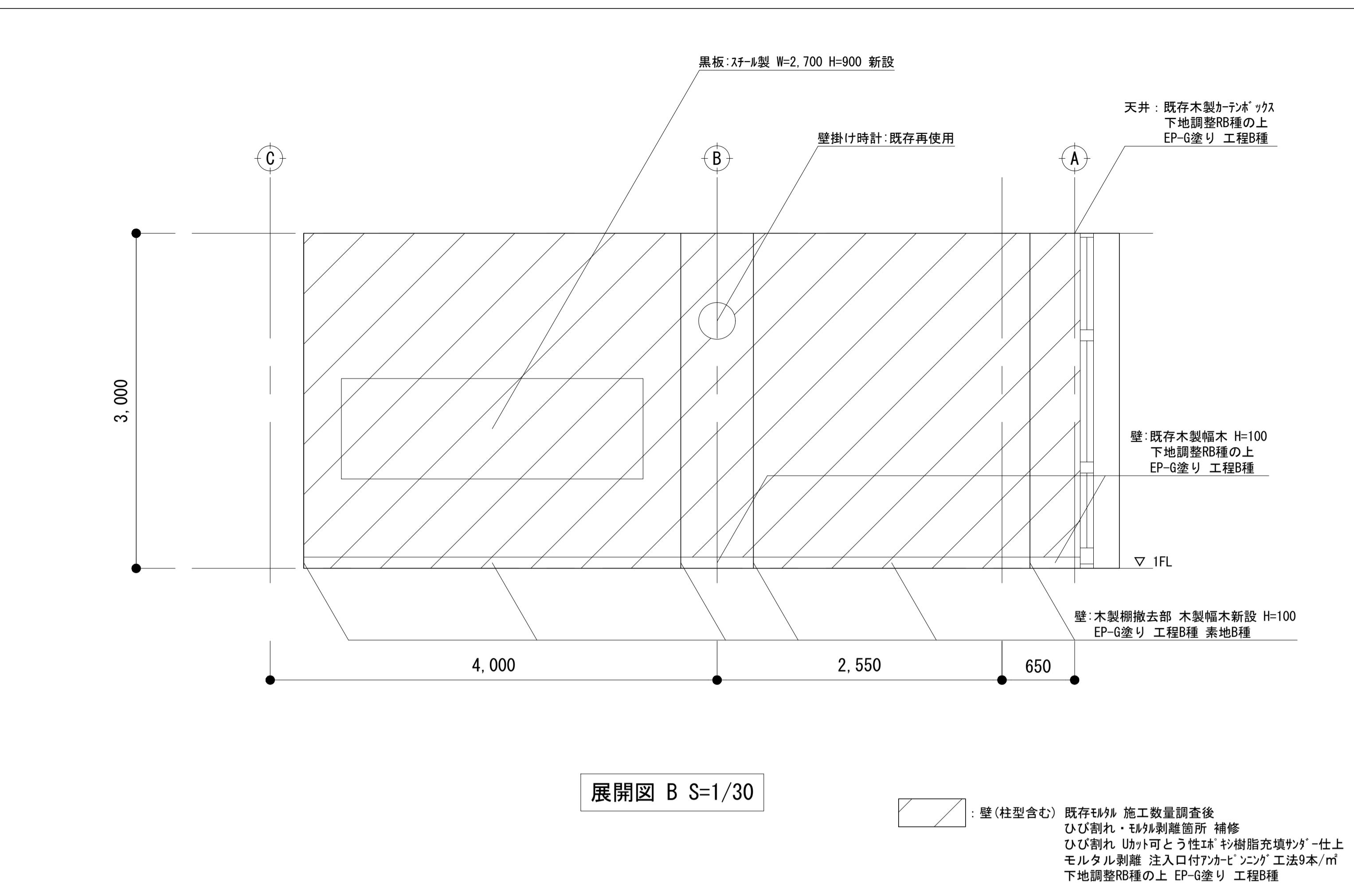
製図	設計	査図	特記事項

工事名	工事箇所	足利市 堀込町	A 15枚の内10
市立南小学校児童クラブ室改修工事（建築工事）	縮尺	S=1/50 1/30 1/10 (A1)	令和 6-4
図面名	児童クラブ室平面図（改修後）、トイレ平面図詳細図（改修後）、断面詳細図		



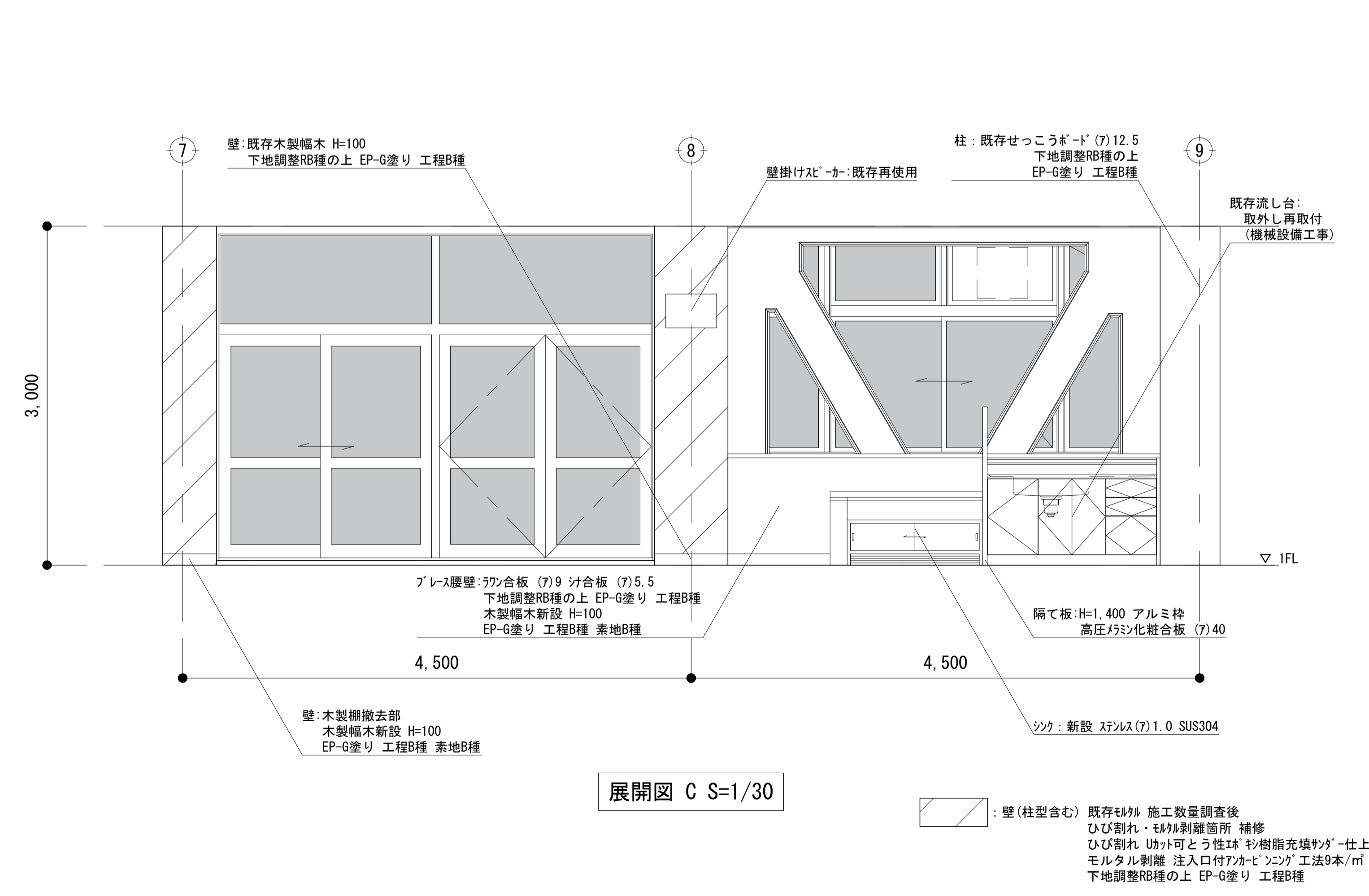
展開図 A S=1/30

: 壁(柱型含む) 既存あり 施工数量調査後
 ひび割れ・モルタル剥離箇所 補修
 ひび割れ Uカット可とう性エポキシ樹脂充填サグ仕上
 モルタル剥離 注入口付アクリル樹脂工法9本/m²
 下地調整RB種の上 EP-G塗り 工程B種



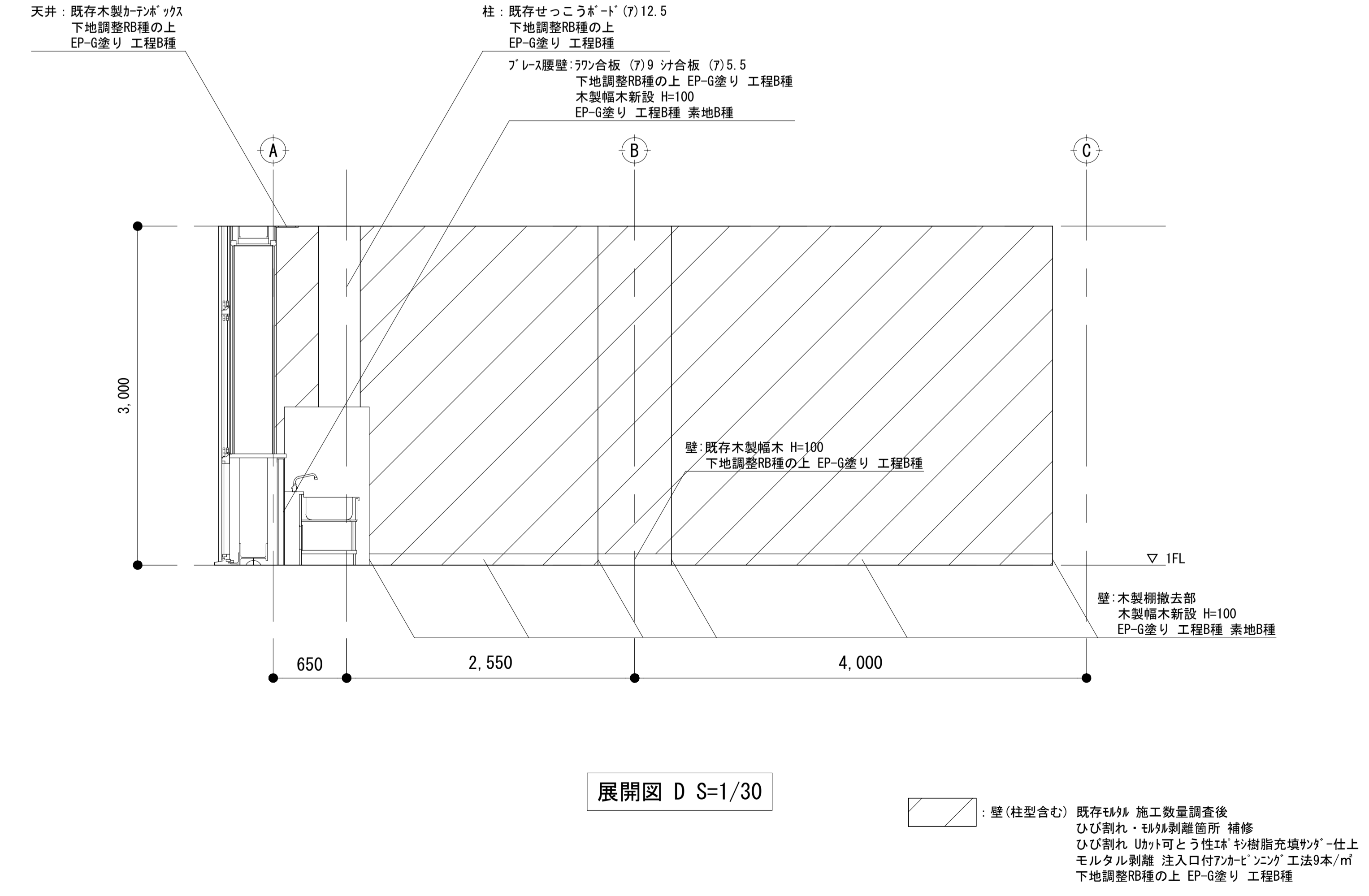
展開図 B S=1/30

: 壁(柱型含む) 既存あり 施工数量調査後
 ひび割れ・モルタル剥離箇所 補修
 ひび割れ Uカット可とう性エポキシ樹脂充填サグ仕上
 モルタル剥離 注入口付アクリル樹脂工法9本/m²
 下地調整RB種の上 EP-G塗り 工程B種



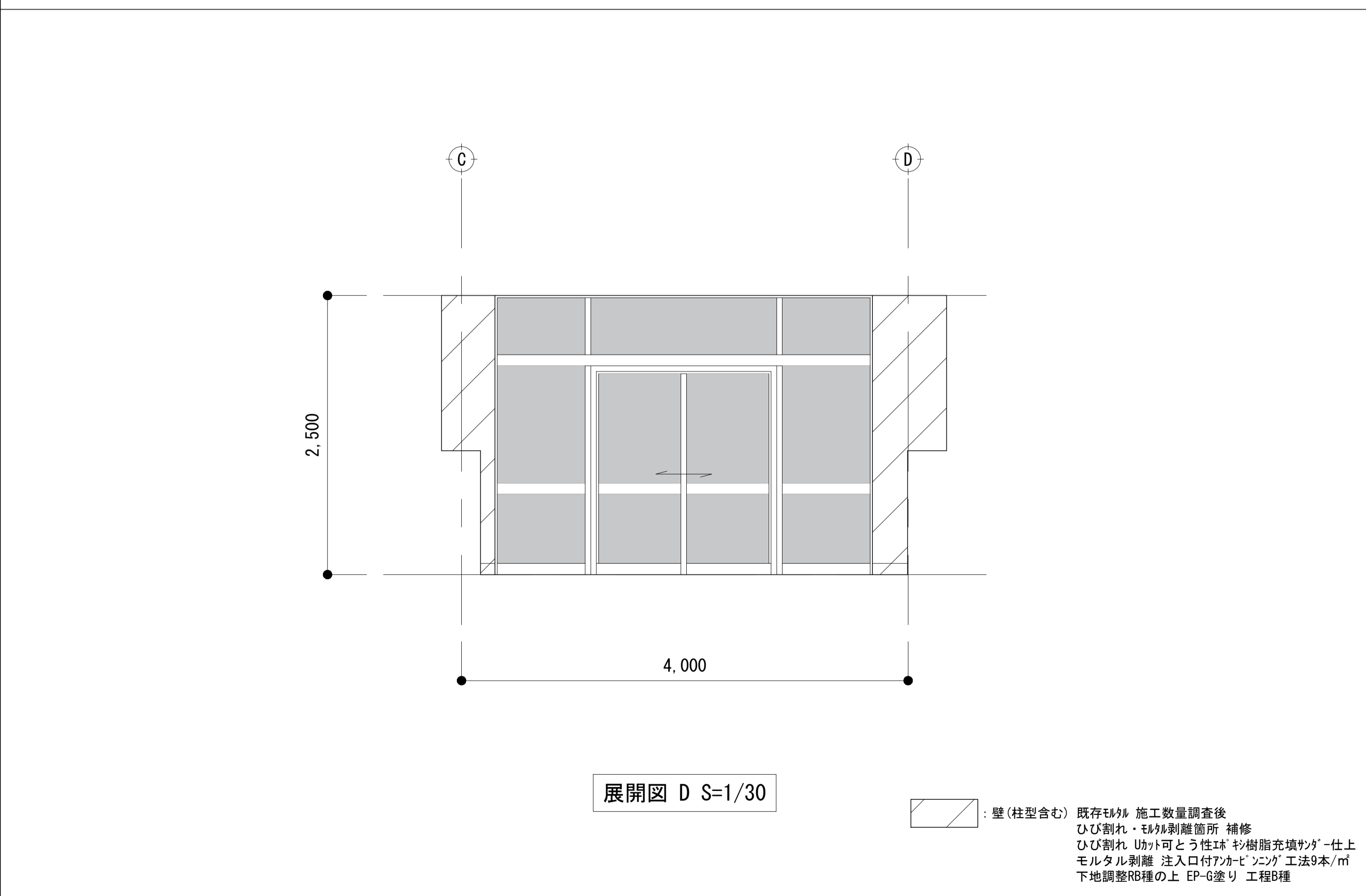
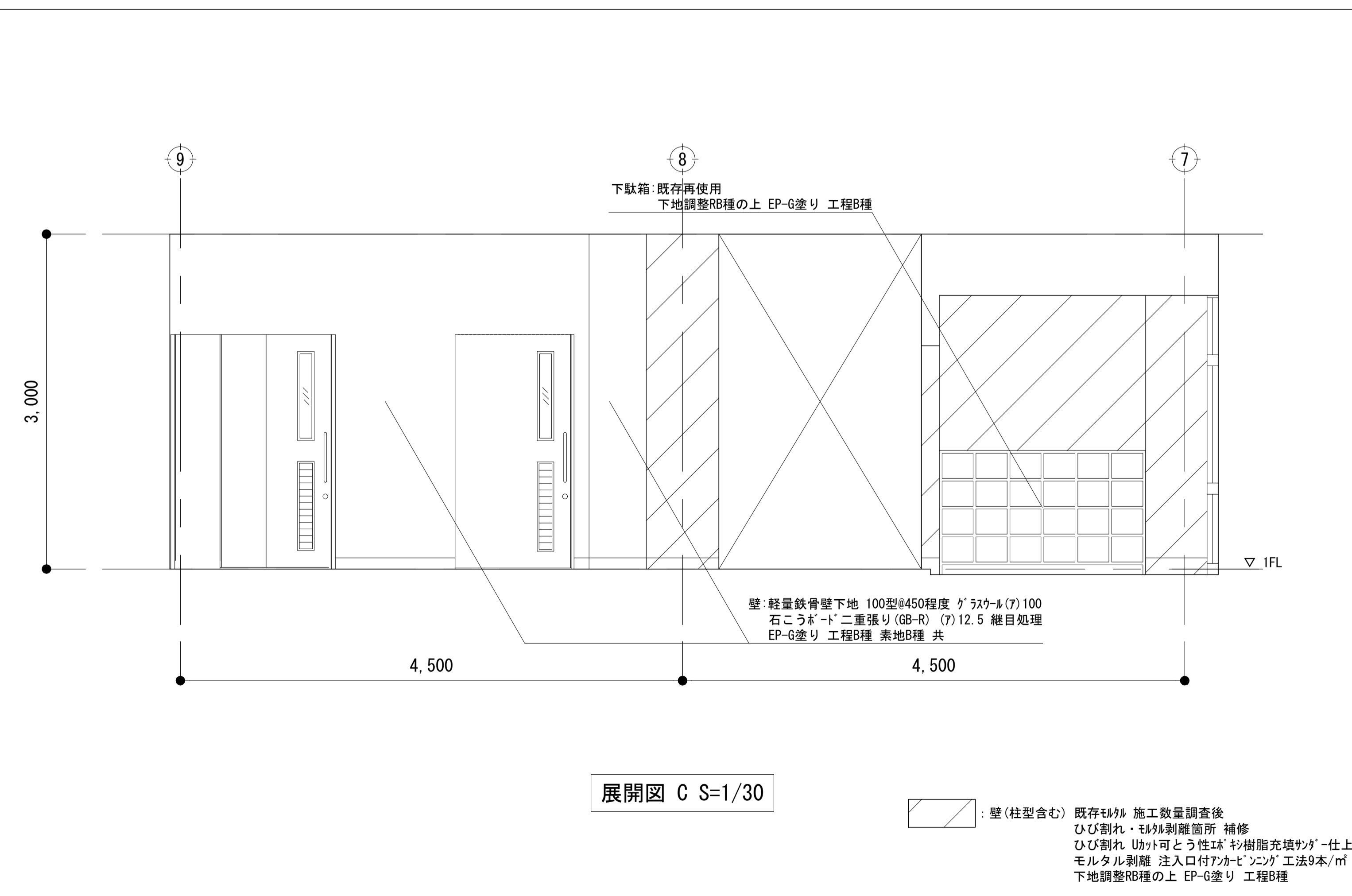
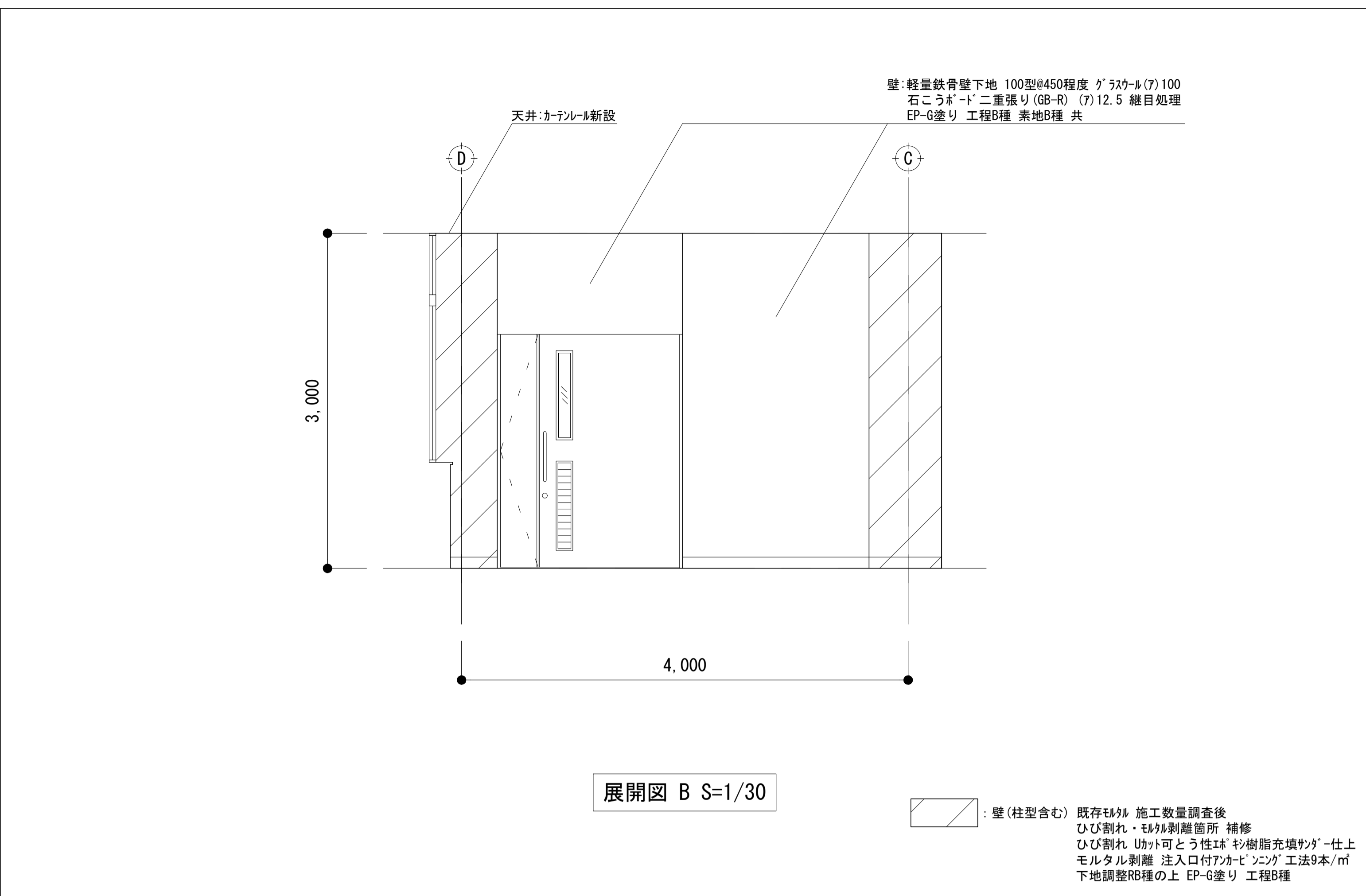
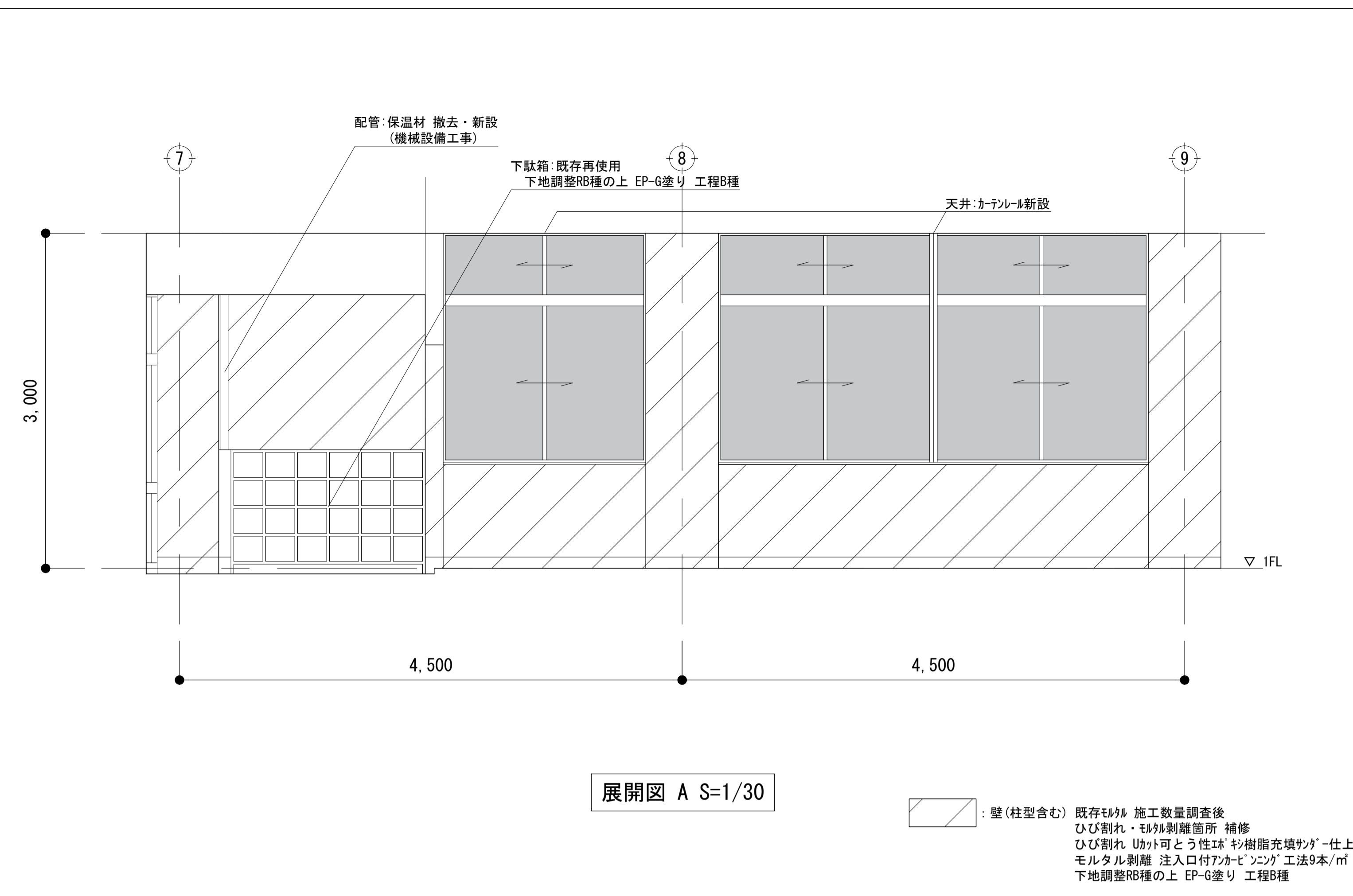
展開図 C S=1/30

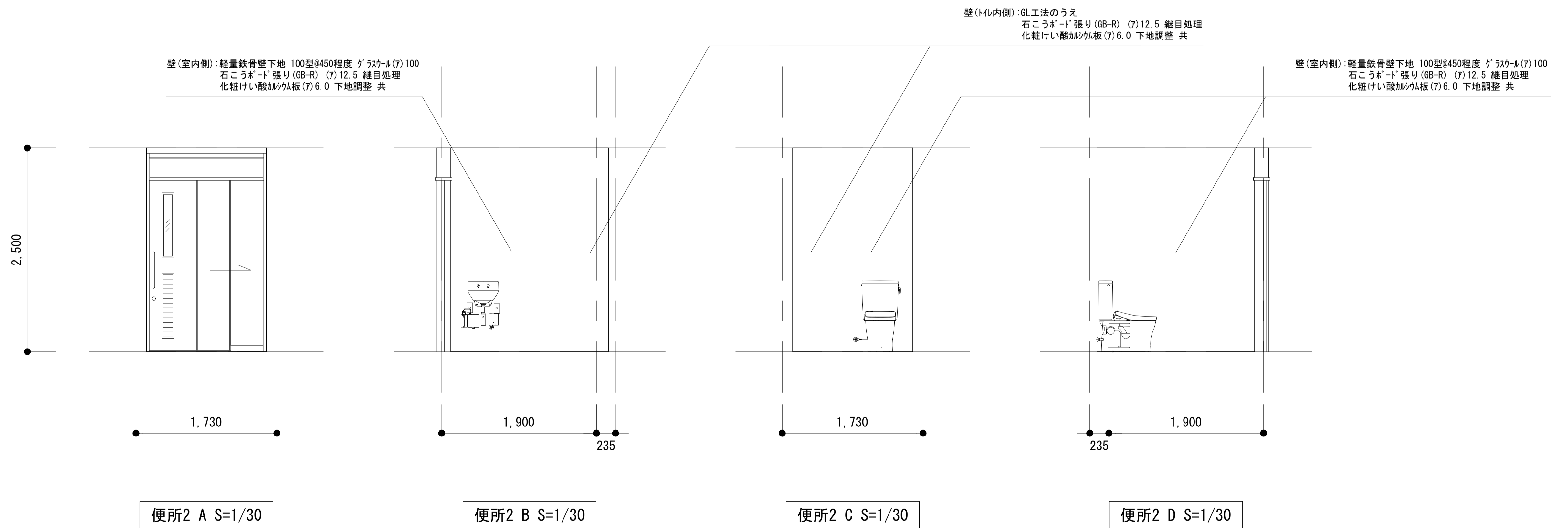
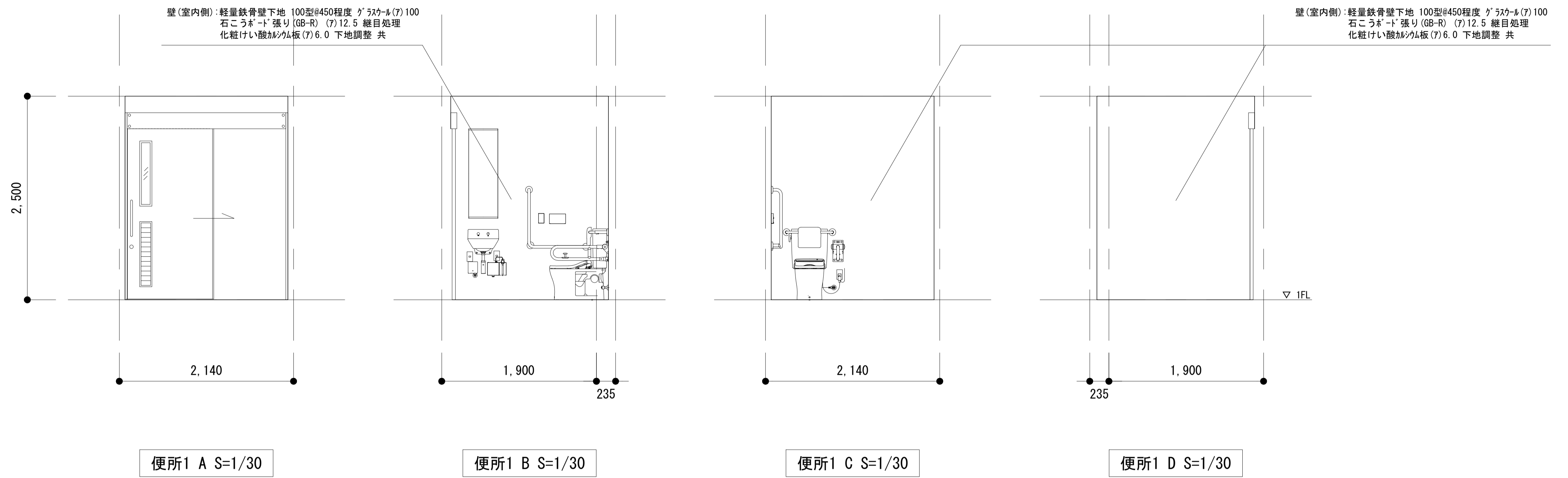
: 壁(柱型含む) 既存あり 施工数量調査後
 ひび割れ・モルタル剥離箇所 補修
 ひび割れ Uカット可とう性エポキシ樹脂充填サグ仕上
 モルタル剥離 注入口付アクリル樹脂工法9本/m²
 下地調整RB種の上 EP-G塗り 工程B種



展開図 D S=1/30

: 壁(柱型含む) 既存あり 施工数量調査後
 ひび割れ・モルタル剥離箇所 補修
 ひび割れ Uカット可とう性エポキシ樹脂充填サグ仕上
 モルタル剥離 注入口付アクリル樹脂工法9本/m²
 下地調整RB種の上 EP-G塗り 工程B種





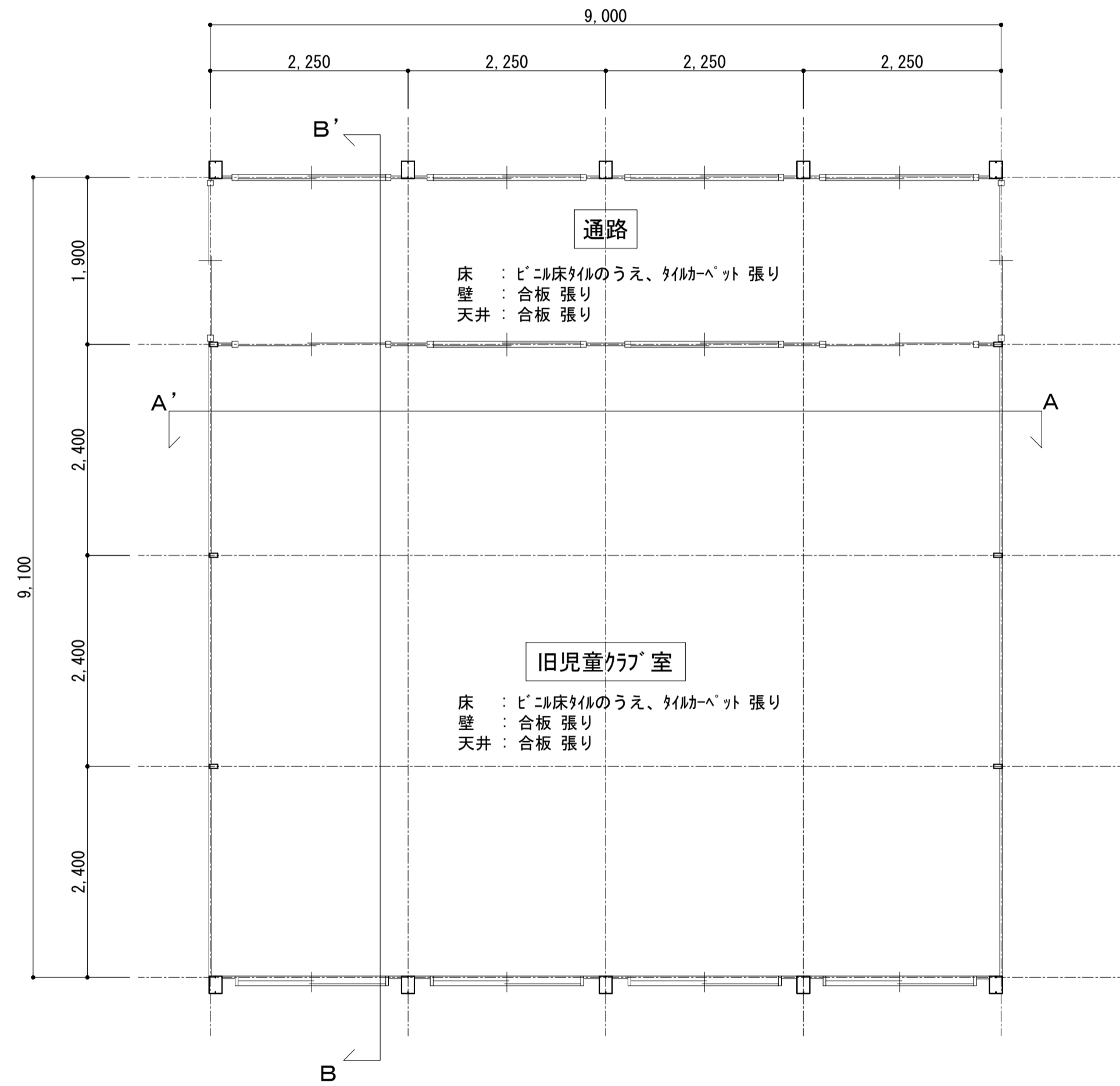
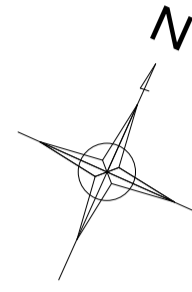
記号・取付箇所	SD 1	昇降口	改修	SD 2	児童クラブ室	改修	AW 1	児童クラブ室	改修
形状									
型式	袖・シツFIX引違い戸			シツFIX付サö開き、引違い戸			7öシツ引違い + FIX (連窓、段窓)		
材料・見込	スチöル 枠 100mm			スチöル 枠 100mm			7öシツ形材 枠 70mm (töル用RC)		
硝子	学校用強化ガラス t=4.0			学校用強化ガラス t=4.0			強化FL t=4.0 / 腰 7öシツ板 3mm		
建築金物	-			-			-		
備考	両面SOP塗装替(枠共) 7öシツ交換(枠共) 学校用強化ガラス t=4.0 7öシツ板 t=3.0			両面SOP塗装替(枠共) 目隠し用ガラスフィルム張り (スリöムジöヤöンö糊 SH2MAML同等品)			両面SOP塗装替(枠共)、屋外建具まわりシöリöグ撤去・打替え 目隠し用ガラスフィルム張り (スリöムジöヤöンö糊 SH2MAML同等品)		

■ : 目隠し用ガラスフィルム張り範囲 (スリöムジöヤöンö糊 SH2MAML同等品)

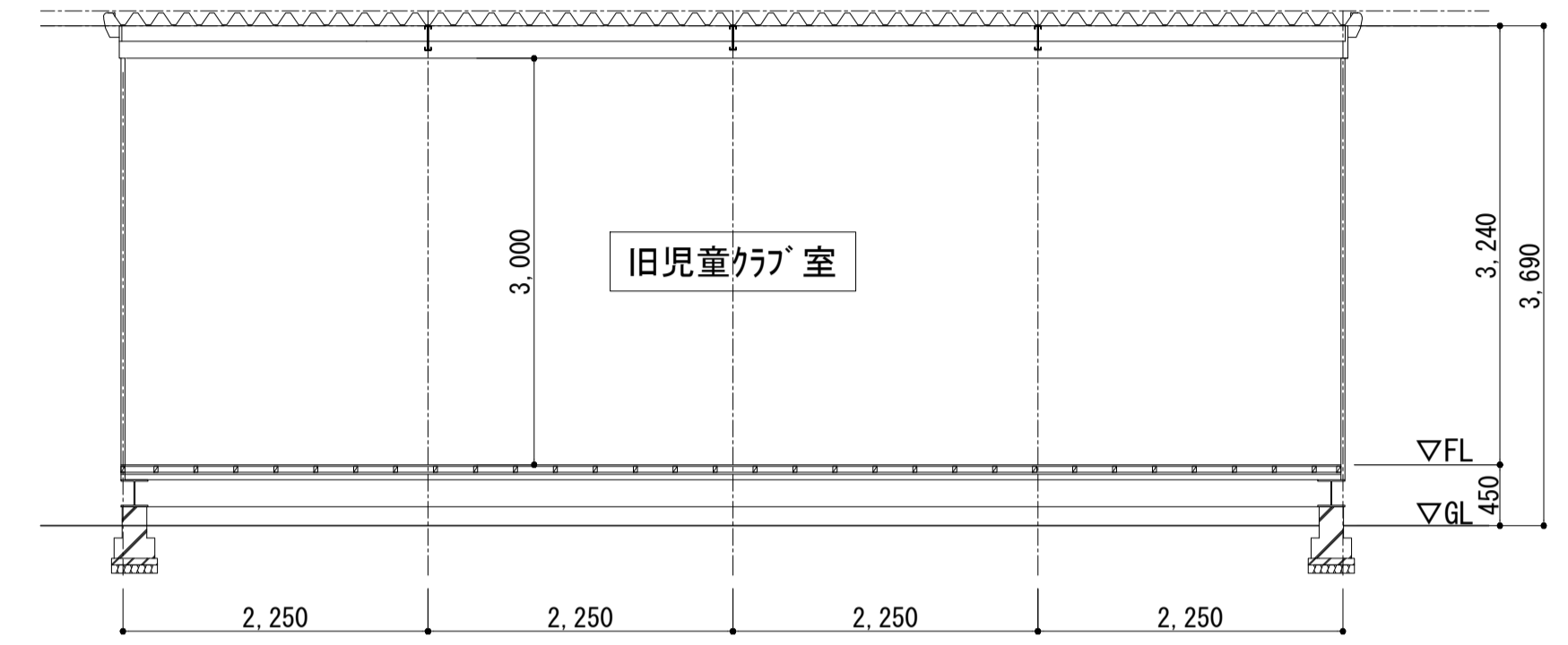
記号・取付箇所	LSD 1	トイレ	新設	LSD 2	トイレ	新設	LSD 3	児童クラブ室	新設
形状									
型式	片引き戸			二重片引き戸			子扉付き片引き戸		
材料・見込	枠: 亜鉛めっき鋼板(SOP塗装仕上)、扉: 亜鉛めっき鋼板(焼付塗装仕上)			枠: 亜鉛めっき鋼板(SOP塗装仕上)、扉: 亜鉛めっき鋼板(焼付塗装仕上)			枠: 亜鉛めっき鋼板(SOP塗装仕上)、扉: 亜鉛めっき鋼板(焼付塗装仕上)		
硝子	強化F4、ガラリ			強化F4、ガラリ			強化F4、ガラリ		
建築金物	表示錠、ハンöレöル、傾斜付レöル、吊車、öイドöローö、イöグöンöバöー			表示錠、ハンöレöル、傾斜付レöル、吊車、öイドöローö、イöグöンöバöー			表示錠、ステンöス丁番、ハンöレöル、傾斜付レöル、吊車、öイドöローö、フöンス落し、イöグöンöバöー、戸先öム、全開öツöバöー、SUS引棒、自閉装置、他付属金物一式		
備考	-			-			-		

記号・取付箇所	F 1	児童クラブ室	新設
断面			
側板	側板: 7öミン化複合板 (7) 25		
内部	内部: 7öミン化複合板 (7) 25		
材質・仕様	シöク: ステンöス304 (7) 1.0 裏打材共		
引違い	引違い戸: 7öミン化複合板		
台輪	台輪: 7öミン化複合板 (7) 25 H=100		
備考	引込引手		

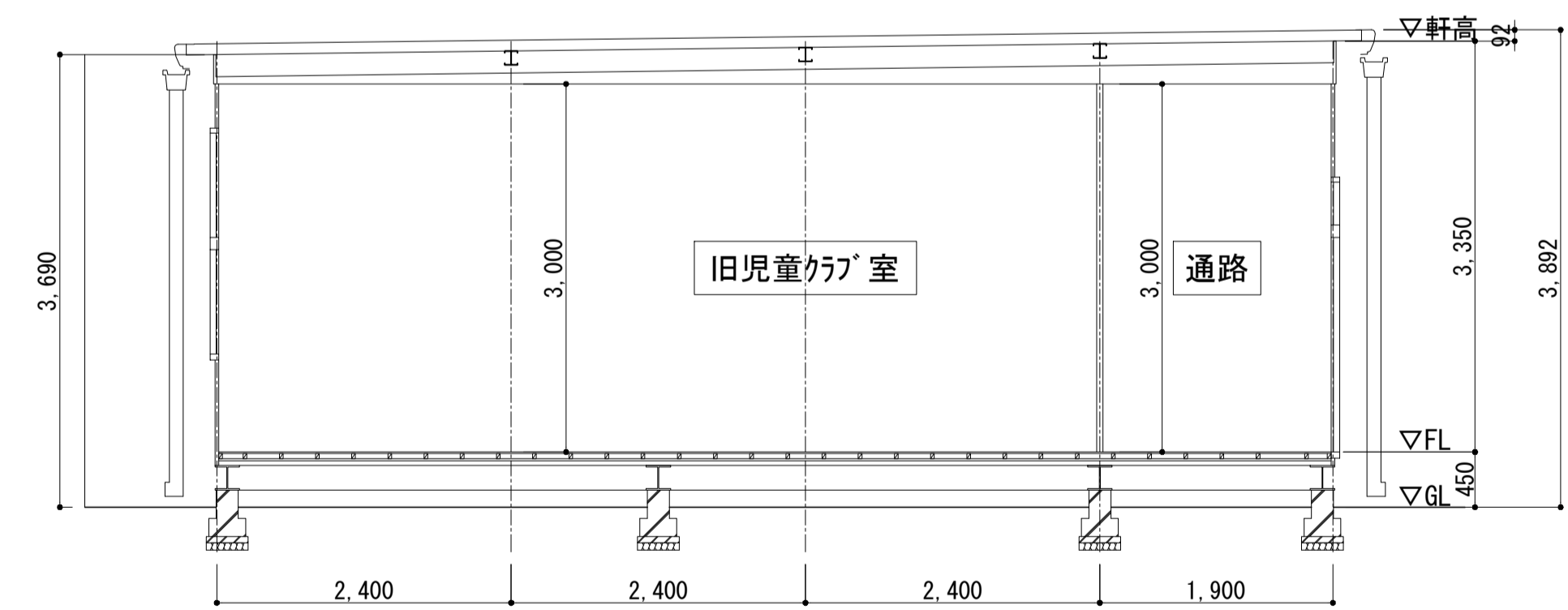




旧児童クラブ室平面図 S=1/50



旧児童クラブ室A-A' 断面図 S=1/50



旧児童クラブ室B-B' 断面図 S=1/50

※ 旧児童クラブ室平面図及び断面図は参考図とする

